

平成 2 7 年度

事 業 報 告 書

公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

平成２７年度事業報告

平成２７年度は、京都コンサートホールと５つの文化会館につきましては、新たに３期目の指定管理期間の初年度として、これまで以上に文化の振興、発展に向け指定管理の申請で提案した事業を確実に実施してまいりました。

京都コンサートホールについては、開館から２０年目を迎える節目の年であり、様々な記念事業に取り組んでまいりました。地域文化会館においても開館から２０年目を迎える京都市北文化会館をはじめ、これまで以上に地域との関わりを深め、地域の文化芸術の振興に努めてまいりました。

また、京都市交響楽団においては、平成２８年度に６０周年を迎える記念事業のスタートを切る取組として、ヨーロッパ４都市を巡る海外公演を実施し、各公演地における都市間の交流や京都の伝統文化の発信を行い、「世界に誇れる一流のオーケストラ」として、さらに国内外へ広く京都市交響楽団をアピールしてまいりました。

更に、ロームシアター京都が平成２８年１月１０日にリニューアルオープンし、京都の新たな文化芸術の創造・発信拠点として、岡崎エリアに新しい賑わいを創出してまいりました。

平成２７年度、財団を取り巻く環境は様々な節目を迎え、質的・量的にも大きな変化を遂げる中、「新中期経営計画２０１６」に掲げる目標の達成に着実に取り組んでまいりました。

『公益目的事業』

■ 京都コンサートホール

I 自主・共催事業〔全30事業34公演4講座〕※第1号議案別紙参照

平成27年度に開館20周年を迎えた京都コンサートホールは、「開館20周年記念事業」として新たなシリーズを立ち上げ、同時に平成28年1月にリニューアルオープンしたロームシアター京都の「オープニング・プレ事業」を京都コンサートホールで開催するなど、クラシック音楽専用ホールとして、すべての市民が文化芸術を享受し世界文化交流の場としての役割を果たしました。また、京都市交響楽団のフランチャイズホールである特徴を最大限に生かし、ホール主催事業の基幹となる「京都の秋 音楽祭」をはじめ、京響が出演するさまざまな演奏会やホール練習を充実させ、その機能強化を図ることができました。

京都コンサートホールは、20年というひとつの節目を迎え、次の20年に向けてさらなる飛躍をするための基盤を揺るぎないものにすることができました。

1 京都市交響楽団の更なる飛躍を促進



京都コンサートホールをフランチャイズとする京都市交響楽団の出演による優れた演奏会を開催しました。常任首席客演指揮者 高関健と若手ヴァイオリニスト 山根一仁をソリストに迎えて行った「京都の秋 音楽祭」の開幕を告げる「開会記念コンサート」では、これまで同様、市民招待を実施しました。加えて、アンサンブルホールムラタでは、京響メンバーによるアンサンブルコンサート「Trio Pathétique」「La Meli Melo Ensemble」「京都 ラ ビッシュ アンサンブル Vol.12」の3公演を制作し共催しました。

2 質の高い音楽芸術の鑑賞機会を提供

京都コンサートホール開館20周年を記念して始まった「京響スーパーコンサート」では、世界的指揮者であり作曲家のタン・ドゥンを招き、水をテーマにしたプログラムで新しい響きを紹介しました。また、「京都の秋 音楽祭」、「ロームシアター京都オープニング・プレ事業」として「ブルガリア国立歌劇場」公演をセミステージ形式で上演しました。人気・実力共に国際的な名声を誇る「ロンドン交響楽団」と「ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団」のふたつのオーケストラ公演を行いソリストには巨匠ピアニスト マレイ・ペライアと、現在、最も話題をさらっている若手ピアニスト ユジャ・ワンが登場しました。アンサンブルホールムラタでは、戦後70年の節目の年に歴史に翻弄され落命を余儀なくされた作曲家を紹介する「戦後70年、アウシュビッツ鎮魂^{レクイエム}」や、海外のトップアーティストを紹介する「北山クラシック倶楽部」をスタートし、ドイツのバリトン トーマス・バウアー、オッテンザマー家のトリオ「クラリノッツ」などリサイタルや室内楽演奏会を開催しました。



3 日本有数のパイプオルガンの活用

国内最大級のパイプオルガンを低料金で聴いていただく「オムロン パイプオルガンコンサートシリーズ」では、オルガンを初めて聴くという初心者にも楽しめるプログラムでおくる“オルガン・ポップス”と、海外のオルガニストを招いて行う“世界のオルガニスト”のふたつのプログラムで開催し、2公演共にチケット完売となりました。

4 ジュニアオーケストラの運営／大学生を中心とした実演家の育成支援

平成17年度に設立した「京都市ジュニアオーケストラ」を京都市交響楽団員の演奏指導のもとに運営し、「第11回京都市ジュニアオーケストラコンサート」で練習成果を発表、チケットは完売となり大きな成果をあげました。京都市立芸術大学をはじめ関西の音楽大学8大学が集結する「関西の音楽大学オーケストラ・フェスティバル IN 京都コンサートホール」は第5回目を迎え、音楽教育の成果を発表する“音楽の檜舞台”の役割を果たしました。また、「ロームシアター京都オープニング・プレ事業」として新国立劇場との共催で「高校生のためのオペラセレクション」を開催。次世代の文化芸術の担い手や鑑賞者の育成を図るとともに、文化芸術を通して青少年の健全な育成に寄与できました。

5 子どもや青少年の創造性を育む事業

わが国を代表するチェンバリストとピアニストが鍵盤楽器の魅力を伝える「子どものための“音楽のトビラ”3つのクラヴィーア」では、チェンバロ、フォルテピアノ、ピアノを並べて楽器の音色の聴き比べを体験し、同時に触れる機会も作りました。また、幼稚園からオルガンに親しめる体験型演奏会「ポジティブオルガン講座」など、子どもが音楽に触れるきっかけとなる演奏会を提供し、豊かな文化生活を営む未来の音楽愛好家の育成を新たに実施いたしました。

6 地域の活性化と市民参加型演奏会の開催

平日昼間のワンコイン名曲コンサートとして人気シリーズとなった「おんがくア・ラ・カルト♪」では、シリーズ初のテノールによるフランス歌曲を開催いたしました。また、没後70年のバルトークのピアノ曲を取り上げた公演や、即興の面白さを紹介するジャズピアニストの公演を実施するとともに、今年度は地域文化会館でも開催し、音楽がある文化的な生活をより多くの市民に提供できました。一般公募により選ばれたアマチュア演奏家が熱演を繰り広げる「リレーコンサート」では、周辺商店街や地元住民とともに地域フェスティバル「京都ミュージック・プロムナード」を開催し、600人近くの音楽ファンが集い活気あふ

れる一日となりました。音楽のあるまちづくりの中心として、地域の活性化に寄与できました。

(参考) 京都コンサートホールにおける事業・公演数の変遷

年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業数	39事業	37事業	34事業	30事業
公演数	56公演	53公演	45公演	34公演
講座数	4講座	4講座	1講座	4講座

7 音楽芸術の人材育成のための支援制度

将来の音楽芸術文化を担う人材の育成に資するため、音楽芸術活動を財政面で支援する「京都コンサートホール ホール利用助成金制度」を引き続き実施し、大学の交響楽団演奏会や若手音楽家による室内楽演奏会など11事業を支援しました。また、大学からのインターンシップを3校、中学校での「生き方探究チャレンジ体験」を3校受け入れました。

(参考) 平成27年度京都コンサートホール ホール利用助成金制度による支援実績

事 業 名	事 業 日	主 催 者
京都大学交響楽団 第197回定期演奏会	6月18日(木) 大ホール	京都大学交響楽団
京都両洋高等学校吹奏楽部 第4回定期演奏会 リハーサル	7月13日(月) 大ホール	京都両洋高等学校吹奏楽部
京都両洋高等学校吹奏楽部 第4回定期演奏会	7月14日(火) 大ホール	京都両洋高等学校吹奏楽部
京都両洋高等学校吹奏楽部 第4回定期演奏会	7月15日(水) 大ホール	京都両洋高等学校吹奏楽部
長岡第二・第三中学校吹奏楽部 部内発表会	7月27日(月) アンサンブルホールムラタ	長岡第二・第三中学校 吹奏楽部
京都大学交響楽団 第198回定期演奏会	1月15日(金) 大ホール	京都大学交響楽団
第30回京都光華中学校・高等学校吹奏楽部 定期演奏会	3月18日(金) 大ホール	京都光華中学校・高等学校 吹奏楽部
京都市立修学院中学校吹奏楽部 定期演奏会	3月25日(金) 大ホール	京都市立修学院中学校 吹奏楽部
大谷中・高等学校吹奏楽部 第52回定期演奏会	3月28日(月) 大ホール	大谷中・高等学校 吹奏楽部
京都府立北陵高等学校吹奏楽部 第22回定期演奏会	3月29日(火) 大ホール	京都府立北陵高等学校 吹奏楽部
京都市立上京中学校吹奏楽部 第32回定期演奏会	3月30日(水) 大ホール	京都市立上京中学校 吹奏楽部

Ⅱ 受託事業

1 指定管理者業務

(1) 施設（貸館）の利用実績

京都コンサートホールにつきましては「京都におけるクラシック音楽の殿堂」としての役割を十分に果たすとともに、若い芸術家たちの憧れの舞台となることを目指し、市民の芸術文化振興の拠点となるよう、利用の促進に努めました。

また、平成27年度は京都コンサートホールの20周年を迎え、開館からの入場者数が500万人に達し、記念セレモニーを実施しました。

目標1 利用率目標達成度

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
利用率(日数)の目標値 大ホール	65 %	69 %	70 %	70 %
利用率(日数)の実績値 大ホール	69 %	67 %	70 %	67 %
目 標 達 成 度 大ホール	105.6 %	97.1 %	100.0 %	95.7 %
利用率(日数)の目標値 アンサンブルホールムラタ	58 %	61 %	61 %	61 %
利用率(日数)の実績値 アンサンブルホールムラタ	60 %	57 %	57 %	54 %
目 標 達 成 度 アンサンブルホールムラタ	104.1 %	93.4 %	93.4 %	88.5 %

目標2 入場者数

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
入場者数の目標値	260,000 名	320,000 名	320,000 名	333,000 名
入場者数の実績値	307,836 名	298,415 名	317,939 名	304,263 名
目 標 達 成 度	118.3 %	93.2 %	99.3 %	91.3 %

目標3 利用料金収入

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
ホール料金収入	207,579 千円	203,541 千円	218,014 千円	204,483 千円
駐車場利用収入	23,319 千円	23,106 千円	23,339 千円	20,365 千円
計	230,898 千円	226,647 千円	241,353 千円	224,848 千円

(2) 施設・設備の維持管理

京都コンサートホールは開館から20年が経過しました。このため、経年による劣化が進んでいるため財団としてもより一層施設の修繕に力を入れ、安全面や利用客の快適性を視野に入れた改善に取り組んでまいりました。所有者である京都市の施設改修工事・修繕のほか、財団におきましても京都市との指定管理契約に基づき、計画的な改修・修繕に取り組みました。

(参考) 主な修繕事例 (財団施工分)

修 繕 内 容
駐車場への外部階段手摺取付修繕
A型ワイヤレスマイク更新
ITV設備カメラ交換修繕
クリプトン電球LED化修繕 (エントランス・ホワイエ等)
直管型電球LED化修繕 (執務室, 荷解き場等)
大ホールアーティストラウンジ椅子座面修繕

2 お客様のサービス向上に向けた取組

(1) チケット票券管理システムの導入

ロームシアター京都のオープンに伴い、京都コンサートホールとロームシアター京都の各施設で開催する催しのチケットが相互で購入できるサービスを開始しました。また、インターネットからの購入においても各施設の窓口で引き取れるなど利便性の向上を図りました。

(2) ホームページの充実

京都コンサートホール開館20周年を記念して京都コンサートホールのホームページをリニューアルし、スマートフォン用画面に対応するなど、より分かりやすく見やすくしました。

また、インターネットの利点を最大限に活かし、閲覧者に常に新鮮な情報を発信するため、鑑賞者向けに公演の魅力を盛り込んだインタビューを掲載するなど、いち早く公演情報やチケット発売等の情報をお届けしました。更にホール利用者向けには、トピックスとして空き情報の公開期日を延ばすなど利便性の向上に努めました。

今後は、さらに魅力あるホームページとなるよう掲載情報を充実させるとともに、画面の見やすさや操作の簡易化にも工夫をしてまいります。

(参考) ホームページ月平均アクセス件数

会 館 名	平成26年度	平成27年度	27年度－26年度
京都コンサートホール	21,066件	27,956 件	＋ 6,890件
東 部 文 化 会 館	3,536件	2,990 件	－ 546件
呉 竹 文 化 セ ン タ ー	4,368件	4,314 件	－ 54件
西文化会館ウエスティ	3,129件	3,047 件	－ 82件
北 文 化 会 館	3,896件	3,453 件	－ 443件
右京ふれあい文化会館	4,217件	3,873 件	－ 344件
京 都 市 交 響 楽 団	52,917件	68,188 件	＋ 15,271件

※ロームシアター京都については未掲載

(3) デジタルサイネージ (電子掲示板) の導入に向けた検討

鑑賞者に情報をタイムリーに伝達するために、チケットカウンターやエントランスなど、施設内各所にデジタルサイネージ (電子掲示板) の設置について検討しました。

（４）お客様満足度向上委員会（CS委員会）の推進

平成２１年度から設置しているCS（顧客満足度向上）委員会議やホールレセプション会議を毎月開催し、施設の管理運営における問題点の改善や利用者のサービス向上に努めました。

特にCS委員会議においては、施設で働く各部門の従事者の代表が参加し、利用ニーズの把握、要望の検証等を行い、「利用者が望むものは何か」を常に考え、利用者の期待を裏切らない接客・応対について協議してまいりました。

（５）アンケート調査の実施及び「理事長への手紙」・お客様ご意見箱の設置

平成２３年１１月から実施している「理事長への手紙」を引き続き実施し、手紙をいただいた皆様からの貴重なご意見を参考にサービス向上に努めました。

また、施設の利用に関する要望・提案をお伺いするため、「お客様ご意見箱」の設置や施設を利用する全ての利用者（主催者、鑑賞者、来館者等）を対象に、アンケート調査を実施しました。さらに、京都コンサートホールの施設をご利用いただいた皆様には、後日、アンケートを兼ねたお礼状を送付し、リピーターの確保及び利用者ニーズの把握に努めました。

（参考）アンケート調査の結果【満足と回答いただいた割合】

項 目	京都コンサート ホ ー ル	東 部 文 化 会 館	呉 竹 文 化 セ ン タ ー	西文化会館 ウエスティ	北文化会館	右京ふれあい 文 化 会 館
応 対 の 仕 方	98 %	93 %	71 %	96 %	94 %	85 %
身 だ し な み	94 %	89 %	71 %	97 %	86 %	85 %
態 度	93 %	92 %	64 %	95 %	87 %	77 %
説 明 の 仕 方	95 %	92 %	65 %	94 %	88 %	82 %
窓 口 の 印 象	84 %	95 %	76 %	97 %	87 %	92 %
会館内の快適さ	91 %	93 %	75 %	98 %	89 %	92 %

利用者・来館者からは上記のとおり、すべての項目において良好な評価をいただきましたが、常に利用者・来館者の目線に立ち、さらなるサービス向上を目指すため、引き続きアンケート調査を行ってまいります。

（６）京都コンサートホール鑑賞マナーの推奨

鑑賞者に演奏会をより快適な空間・環境で楽しんでいただくため、「鑑賞マナーリーフレット」の配布や館内に鑑賞マナー向上を啓発するポスターを掲示して、京都コンサートホールに来ていただいた全ての鑑賞者が満足していただけるコンサートづくりに努めました。

３ 集客のための取組

（１）各種会員制度の会員数拡大に向けた取組

ロームシアター京都のオープンに合わせ、「京都コンサートホールClub」を「京都コンサートホール・ロームシアター京都Club」と名称を変更し、早期に会員募集を開始しました。

さらに、「京都コンサートホール・ロームシアター京都Club」「京響友の会」の各会員制度の周知を図るとともに、会員共通サービスとして京都市交響楽団の練習風景の公開やバックステージツアーを開催するなど、各会員制度を有機的に活用し、新規会員の獲得に努めました。

オンライン会員についても、ロームシアター京都との共通会員とし、「フレンズ会員」と名称を変更して、先行発売の情報などをメールマガジンで発信し、会員の維持・拡大を図りました。

(参考) 会員数の推移

会 員 制 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
京都コンサートホールClub (※)	1,905 名	1,783 名	1,831 名	2,020 名
京響友の会 個人会員	951 名	951 名	1,164 名	1,362 名
京響友の会 法人会員	84 社	84 社	85 社	94 社

※平成27年度から「京都コンサートホール・ロームシアター京都Club」へ名称変更

(参考) インターネット会員 (※) 登録数

年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
新規登録数	3,867 名	3,387 名	3,695 名	7,401 名
累計登録数	12,371 名	15,758 名	19,453 名	26,854 名

※平成27年度から「フレンズ会員」へ名称変更

(2) セット券の販売

京都コンサートホール開館20周年を契機に、新たなセット券「ビッグ4&チョイス3」を販売いたしました。平成27年度は、「京響スーパーコンサート」「ロンドン交響楽団」「ブルガリア国立歌劇場「トゥーランドット」」「ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団」の全4公演を鑑賞する「ビッグ4」と3つの公演をセットにした「チョイス3」の2種類を提供し、お客様の多様なニーズに対応いたしました。

また、前年度に引き続き、共通座席「マイシート」を継続し、京都コンサートホールで世界トップクラスの音楽を堪能いただく機会を提供できました。

(3) 学生、高齢者、障がいのある方等が音楽を鑑賞しやすい環境の整備

コンサートホールの自主事業におけるスチューデント割引、シニア割引、障がいのある方割引を実施し、学生、高齢者、障がいのある方等が音楽を鑑賞しやすい環境を整備しました。

(4) ウィークデーパッケージプランの運用

株式会社エフエム京都との共同により、財団がホール利用料金の一部を負担し、株式会社エフエム京都がラジオでのスポット枠（空き枠）を利用してコマーシャルを流す、平日利用限定の「京都コンサートホール ウィークデーパッケージプラン」を引き続き実施し、10事業を開催し、利用率向上に貢献しました。

(参考) ウィークデーパッケージプラン事業数

年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業数	23事業	13事業	13事業	10事業

(参考) 平成27年度 京都コンサートホール ウィークデーパッケージプラン実施実績

事 業 名	事 業 日	主 催 者
マリア・カラス 伝説のオペラ座ライブ	5月15日 (金) アンサンブルホールムラタ	グループ未来
由紀さおり&安田祥子 ファミリーコンサート	6月19日 (金) 大ホール	(株)オトノワ
ジョヴァンニ・アレヴィ ピアノソロコンサート	6月23日 (火) アンサンブルホールムラタ	ヴィオラ
ジェイコブ・コーラー ジャズで奏でる、麗しの映画音楽	9月10日 (木) 大ホール	(一財)民主音楽協会
シネ・オペラ「トスカ」上映会	9月11日 (金) アンサンブルホールムラタ	シネマ・ソラ
鬼才 高木和弘の世界	10月2日 (金) アンサンブルホールムラタ	音楽への道
若手新進ピアニストと声楽家による 楽しいクラシックコンサートin京都2015	11月6日 (金) アンサンブルホールムラタ	KMM企画
ロンドン・トリニティ少年合唱団 クリスマス・コンサート2015	12月8日 (火) 大ホール	(株)オトノワ
シネ・オペラ「リゴレット」上映会	2月12日 (金) アンサンブルホールムラタ	シネマ・ソラ
第5回東京メトロポリタン・ プラス・クインテット京都公演	3月11日 (金) アンサンブルホールムラタ	エラート音楽事務所

4 京都コンサートホール20周年記念の取組

(1) 京都コンサートホール開館20周年記念演奏会

平成7年に開館した京都コンサートホールが開館20周年を機に、世界的に著名なマエストロ等と京響が共演する「京都市交響楽団スーパーコンサート」をスタートさせ、世界的指揮者・作曲家であるタン・ドゥンを招いて、水をテーマにしたプログラムの演奏会を開催しました。また、コンサートホールで世界的な歌劇場による本格的なオペラを鑑賞する「ブルガリア国立歌劇場“トゥーランドット”」や、わが国最高峰の舞台芸術団体である新国立劇場との共同制作となる「高校生のためのオペラ音楽セレクション」を平成28年1月にオープンしたロームシアター京都オープニング・プレ事業として平成27年秋に実施し、舞台芸術公演へとつないでいきました。

(2) 京都コンサートホール20周年記念誌の発行

開館20周年を記念して、過去の自主公演の開催記録や20周年記念事業の公演内容など、京都コンサートホールの「歩み」を盛り込んだ記念誌を製作し、これまで京都コンサートホールをご支援いただいた方々に配布しました。

（３）京都コンサートホール記念グッズの販売

開館２０周年の特別感を演出するため、地域の鞆店「一澤信三郎帆布」とコラボレーションし、開館２０周年のロゴや京都コンサートホールのシンボルであるパイプオルガンのイラストをプリントしたトートバックを作成し販売しました。

（４）ホームページの充実【再掲】

京都コンサートホール開館２０周年を記念して京都コンサートホールのホームページをリニューアルし、スマートフォン用画面に対応するなど、より分かりやすく見やすくしました。

また、インターネットの利点を最大限に活かし、閲覧者に常に新鮮な情報を発信するため、鑑賞者向けに公演の魅力を盛り込んだインタビューを掲載するなど、いち早く公演情報やチケット発売等の情報をお届けしました。更にホール利用者向けには、トピックスとして空き情報の公開期日を延ばすなど利便性の向上に努めました。

今後は、さらに魅力あるホームページとなるよう掲載情報を充実させるとともに、画面の見やすさや操作の簡易化にも工夫をしてまいります。

■ 地域文化会館

(京都市東部文化会館, 京都市呉竹文化センター, 京都市西文化会館ウエスティ, 京都市北文化会館, 京都市右京ふれあい文化会館)

I 自主事業〔全53事業78公演5講座〕※第1号議案別紙参照

地域文化会館が地域の文化芸術の活動拠点として、平成23年度から取り組んできた「地域文化芸術活動活性化協議会」「文化芸術活性化パートナーシップ事業」「アウトリーチ事業」などを引き続き実施し、文化芸術活動団体、行政、学校関係、地元の各団体等とのネットワークを強化し、文化芸術活動情報の受発信、文化芸術活動の団体育成や支援、地域イベントへの積極的な関与など、地域との関わりを深め、地域の文化芸術の振興に取り組みました。

1 地域文化芸術活動活性化協議会の開催



地域文化芸術活動活性化協議会からの提案や意見を受け、コーディネーターが地域の文化芸術活動団体・個人と連携する事業を各地域文化会館で実施しました。西文化会館ウエスティではプロ・アマチュアを問わず、地域の文化芸術団体・個人にパフォーマンスの場を提供する「ウエスティ・パフォーマンス広場」を年2回開催し、多くの市民にご来場いただき、地域の文化芸術の活性化に寄与しました。

また、東部文化会館では、市営地下鉄山科駅「音の広場」において、地域の芸術文化活動団体（邦楽、インド音楽、ダンスなど）がパフォーマンスを行った「ナイスミート@エコム2015」を開催しました。

※ 地域文化芸術活動活性化協議会とは

文化芸術活動団体、行政の代表者、地元学校の代表者などで構成され、地域ネットワークの構築、文化芸術の情報提供、アウトリーチ事業の開催協力、施設運営への助言や意見交換などを行うとともに、協議会の持つネットワークを活用し、文化芸術活動情報の受発信、事業の協働企画・開催など、地域文化会館が文化芸術の活動拠点として、より一層、地域における文化芸術の活性化を図るとともに、魅力ある地域の街づくりに貢献するため、平成23年度から各地域文化会館に設置しています。

2 地域文化会館の重点的な取組

地域文化会館では、以下の7つの視点を重視した文化事業を実施しました。

- ① 文化芸術活性化パートナーシップ事業
- ② 市民が幅広い文化芸術に親しむ事業
- ③ 地域連携を実現する参加型事業
- ④ 会館プロデュースによる参加促進型事業
- ⑤ アウトリーチ事業
- ⑥ 多彩な文化芸術活動を支援する事業
- ⑦ 京都市交響楽団との連携事業

(1) 文化芸術活性化パートナーシップ事業の実施



地域の文化芸術の活性化を図るため、各地域文化会館ではパートナー団体と協働で、鑑賞型の「無料公演」に加え、地域の子どもたちを対象とした育成型プログラム「教育プログラム」を実施しました。

北文化会館では、吹奏楽団「雅」による「きこう！うたおう！すいそうがく！」において、吹奏楽を身近に感じてもらうため、アニメ曲などの演奏に加え、楽器体験や指揮者体験を実施しました。

(参考) 平成27年度パートナーシップ団体

会 館 名	パートナーシップ団体
東部文化会館	日吉ヶ丘ギターマンドリンアンサンブル 京都弦楽合奏団
呉竹文化センター	京・伏見音楽サークル和音 特定非営利活動法人アルテマンドリニスティカ
西文化会館ウエスティ	吹奏楽団京都ムジークフェライン 京都ラ・ルーチェ合唱団
北文化会館	吹奏楽団「雅」 京都セシリア合唱団
右京ふれあい文化会館	NEO吹奏楽団 ママさんブラス 京都エトワール合奏団

※文化芸術活性化パートナーシップ事業とは

演劇・音楽・ダンスなど舞台芸術活動団体（パートナーシップ団体）と地域文化会館が協働で、地域の文化芸術活性化を目的とし、魅力ある舞台芸術を披露する「無料公演」、未来を担う子どもたちを対象にワークショップやミニコンサートなどを行う「教育プログラム」を会館内外で年1回以上開催することを条件に、拠点となる文化会館のホールを練習で利用する場合、通常料金の2割で利用することができるほか、文化会館が活動情報の発信や地域活動への協力などを行う事業です。

(2) 市民が幅広い文化芸術に親しむ事業

ア 地域の教育機関との連携



京都市立芸術大学と各地域文化会館が連携で、才能ある若い世代を支援するため、西文化会館ウエスティでは「ウエスティ音暦（おとごよみ）」を、北文化会館では「京芸ルネッサンス2015 文化会館コンサートシリーズ」をそれぞれ年2回開催しました。また、地元中学校の吹奏楽部を対象に、生徒間交流、演奏技術向上などに加え、音楽芸術文化の活性化を目的に、東部文化会館では「第28回ブラスバンド・イーストフェスティバル」を、右京ふれあい文化会館では「第14回右京ふれあい合同演奏会」を開催しました。

呉竹文化センターにおいては、京都市内の大学の落語研究会・サークルの学生による「第22回学生お笑い呉竹寄席」を開催しました。

イ 子どもを対象とした鑑賞型・体験型



未就学児の創造性を豊かに、また、舞台芸術文化に身近に触れる機会を提供した体験型プログラム「みんなで遊ぼう！親子でコンサート～アニマルワールドへ、ようこそ！」を地域文化会館5館での開催に加え、北文化会館では親子で鑑賞できる「0歳児からのクラシック特別編」を開催しました。

ウ 開館20周年記念事業

開館20周年を迎えた北文化会館では、京都精華大学の学生による日本内外に伝わる怪談、説話を披露した「KITABUN怪談ナイト」や、地域の図書館・活動団体と連携し、本の朗読、紙芝居、本の交換会などを行った「きたぶんこいかん」を開催するなど、記念事業としての特別プログラムで多くの市民に楽しんでいただきました。

(3) 地域連携を実現する参加型事業

ア 地域の伝統芸能を発掘し披露



古都京都の財産である地域の芸能を市民に披露する事業として、各地域文化会館において伝統芸能の掘り起しを行い、5つの地域文化会館で開催しました。東部文化会館では、地元四ノ宮に伝わる四宮琵琶をクローズアップし、それにまつわる歴史背景を解説する「伝承の地が奏でる四ノ宮琵琶～人康親王ゆかりの地 京都・山科・四ノ宮～」、北文化会館では、北区小山地域で伝えられる「小山郷六斎念佛と白拍子舞」を開催しました。

(参考) 各地域文化会館の開催内容

会 館 名	タイトル	内 容
東部文化会館	伝承の地が奏でる四ノ宮琵琶 ～人康親王ゆかりの地 京都・ 山科・四ノ宮～	四ノ宮琵琶と龍笛の演奏と山科・四ノ宮にまつわる歴史や伝承についての講演
呉竹文化センター	吉祥院六斎念仏踊り	京都市南区に江戸時代から伝承されている、国の重要無形民俗文化財「吉祥院六斎念仏踊り」に関する講演と実演
西文化会館 ウエスティ	安藤朴翁の琴韻を聴く	安藤朴翁、京都の琴界の概要などの話を盛り込みながら、安藤朴翁や京都の琴人たちが聴いたであろう琴韻を再現
北文化会館	小山郷六斎念佛と白拍子舞	北区小山地域で伝えられる「小山郷六斎念佛」、古くから伝わる「白拍子舞」を上演
右京ふれあい文化会館	右京に生きる、剣鉾	6基の剣鉾を舞台上で展示しながらの講演と保存会メンバーによる、剣鉾差しの実演を披露

イ 地域と連携しアーティストのパフォーマンスを支援



西文化会館ウエスティでは地域のネットワークを活用し、地元で活動している文化芸術活動団体にパフォーマンスの場を提供し、地域への活動情報の発信などを通じてアーティストの技術・芸術性向上を支援することに加え、地域文化芸術活動活性化協議会との連携として「ウエスティ・パフォーマンス広場」を年2回開催しました。

ウ ワークショップ「舞台なんでも塾」の開催

専門性豊かな技術担当者による舞台運営方法や企画・制作、舞台機器の技術指導、舞台安全対策などの講習を地域文化会館で開催し、舞台芸術に触れる機会を提供することで、次世代の文化芸術の担い手を育成するため、東部文化会館では地元の高校を対象に、演劇について講習会を開催しました。

(4) 会館プロデュースによる参加促進型事業

ア 市民参加型事業（活動団体の支援）



市民の誰もが文化芸術活動に参加し自己表現することに感動できる事業として、「市民創造ステージ」を全館で年1回開催しました。また、東部文化会館では、地域のコーラスサークルによる発表や交流の場として「第11回コーラスフェスティバル in 山科・醍醐」を開催しました。

イ 創作文化の作品展示



創作文化活動の団体又は個人に、日頃の活動成果の作品展示の場として、東部文化会館では山科区役所と連携し、市営地下鉄柳辻駅構内の「アートロード柳辻」において、「～“アートロードなぎつじギャラリー”～」を開催しました。また、賑わいスペースの創出として施設の一部を作品展示の場として提供した「小さな個展」を西文化会館

ウエスティで通年開催したところ、10団体又は個人による書道、写真、水彩画などの作品展示や、右京ふれあい文化会館の「右京ふれあいミニギャラリー」では、通年11団体又は個人による水墨画、写真、アクリル画などの作品展示がありました。

(5) アウトリーチ事業

協力団体（文化芸術活動団体）を開催団体（受入施設：学校等の教育施設、病院や福祉施設、商業施設等）に派遣し、ワークショップやミニコンサートを行うアウトリーチ事業を、平成27年度は5館で計92公演を実施しました。具体的活動として、東部文化会館では、山科・醍醐地域の福祉施設や児童館などでコーラスやフォークロック、弦楽アンサンブルなどの音楽系やダンスや落語などの多様なジャンルによるワークショップやミニコンサートを実施しました。

呉竹文化センターでは、協力団体である龍谷大学落語研究会が近隣施設の敬老会において落語会の開催、北文化会館では、プロの演奏家が地元小学校においてミニコンサートやヴァイオリン等の楽器を生で触れるワークショップを実施するなど、市民が身近に芸術文化に触れる機会を創出しました。

(参考) その他各会館の活動一部

会 館 名	内 容
東部文化会館	大圓寺集会所において、京都弦楽合奏団が弦楽アンサンブルによる演奏会を実施
呉竹文化センター	祥豊保育園において、京・伏見音楽サークル和音が吹奏楽のミニコンサートを実施
西文化会館ウエスティ	京都エミナースの明治アニバーサリーホールにおいて、大谷大学落語研究会が落語を実施
北文化会館	紫野小学校音楽室において、父兄参観日に保護者7名も参加しワークショップを実施
右京ふれあい文化会館	京都市嵯峨野児童館において、京都エトワール合奏団が吹奏楽のミニコンサートを実施

(6) 多彩な文化芸術活動を支援する事業

ア 文化芸術活動パワーアップ支援事業

演劇、舞踊、伝統芸能などの舞台芸術や絵画・工芸品の作品展示など幅広い市民の文化芸術活動に対し、経費の一部を助成するとともに、各地域文化会館のコーディネーターが施設活用や舞台づくりのアドバイスを行い、芸術性や創作性の向上に向けた支援を行う「文化芸術活動パワーアップ支援事業」を継続実施してまいりました。

(参考) 平成27年度は2団体・個人を支援

会 館 名	支援団体・個人名	活動(企画)名
東部文化会館	弦楽ふるさとの会	四ノ宮琵琶と弦楽器のアンサンブルコンサート
右京ふれあい文化会館	特定非営利活動法人 ハートフルトポス	クリスマスフェスティバル

※文化芸術活動パワーアップ支援事業とは

地域文化会館のコーディネート力を活用して、市民文化活動の芸術性の向上、文化芸術団体相互のネットワークの強化、地元団体と文化芸術団体との連携の促進等に取り組むことにより、地域の文化芸術活動の活性化を図ることを目的として行う事業です

イ 舞台芸術活動なんでも相談会

市民の舞台芸術の芸術性や創造性を高めるため、公演やコンサートの照明・音響の演出、舞台運営方法など舞台づくりに関する相談について、専門性豊かな技術担当者が提案やアドバイスを継続実施してまいりました。

(7) 京都市交響楽団との連携事業

ア 鑑賞型事業の実施

市民の誰もが気軽にクラシック音楽を楽しんでもらえるよう入場料を廉価に設定し、何処かで聴いたことのある曲を演奏プログラムとした、京都市交響楽団のメンバー「京都しんぷおにえった」による「ちょっと素敵な朝からクラシック」を呉竹文化センターと北文化会館の2館で開催しました。

イ ワークショップの開催



楽器演奏経験のある市民を対象に、プロによる楽器指導を直接受ける機会を提供することにより演奏技術の向上を目的とした地域文化会館5館連携による楽器講習会「京都市交響楽団メンバーによる楽器講習会」を開催しました。

ウ 京都市ジュニアオーケストラの活動支援

京都市交響楽団が指導する「京都市ジュニアオーケストラ」の音楽活動を充実させるため、練習会場として右京ふれあい文化会館など、地域文化会館を活用するとともに、活動内容の情報を発信するなど、若いオーケストラを支える環境づくりに取り組みました。

(参考) 文化会館における事業・公演数の変遷

年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業数	55事業	54事業	49事業	53事業
公演数	91公演	93公演	81公演	78公演
講座数	5講座	5講座	4講座	5講座

※上記の数にアウトリーチ事業は含まれていません。

(8) 京都橘大学との連携

ア 概要

地域文化会館では、地域の特性を活かした文化芸術活動の拠点となるために、地域の文化芸術団体等との連携などに積極的に取り組んでいます。それらの活動をさらに発展させるため、東部文化会館と京都橘大学が連携を図り、地域の文化・芸術の振興に寄与する人材を育成することを目的とし、平成27年11月5日に京都橘大学において、東部文化会館（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）と京都橘大学との連携に関する協定書調印式を実施し、締結しました。

イ 具体的な連携内容

- ① 会館の自主事業、アウトリーチ事業等に現代ビジネス学部都市環境デザイン学科の学生が学修体験として参加する。
- ② アートマネジメント学修に資するため、舞台運営や施設の管理、事業への取組等について学修する機会を創る。
- ③ 学生が学修体験で得た知識や経験等を活かし、文化芸術の振興や、文化芸術を活用した地域の発展やまちの賑わい創出等に貢献する企画立案・実施を会館とともに行う。
- ④ 会館が今後の自主事業等の運営に活かせるように、大学の協力のもと、事業の在り方や実施方法等について研究する機会を得ることなど、その成果を発表する機会等を創る。

Ⅱ 受託事業

1 指定管理者業務

(1) 施設（貸館）の利用実績

地域文化会館（ホール）が市民の文化芸術活動の拠点としての役割を十分果たすとともに、指定管理者として利用料金収入の増収を図るため、営業の強化に努めるとともに割引制度などを導入し利用の促進を図りました。

東部文化会館

ア 利用率目標達成度

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
利用率（日数）の目標値	61 %	61 %	61 %	61 %
利用率（日数）の実績値	60 %	58 %	68 %	60 %
目 標 達 成 度	98.4 %	95.0 %	111.5 %	98.4 %

※平成26・27年度は空調設備工事により、利用可能日数が減少したことで、平成25年度と比較して平成26年度は実績値が10%増、平成27年度は実績値が2%増となった。

イ 入場者数及び利用料金収入

区 分	平成26年度	平成27年度
入場者数（ホール）数値	43,684名	40,699名
利 用 料 金 収 入	29,687千円	26,058千円
駐 車 場 利 用 料 金 収 入	4,486千円	3,979千円

呉竹文化センター

ア 利用率目標達成度

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
利用率（日数）の目標値	69 %	73 %	76 %	77 %
利用率（日数）の実績値	77 %	75 %	76 %	79 %
目 標 達 成 度	111.6 %	102.7 %	100.0 %	102.6 %

※24年度においては、舞台設備吊物修繕により利用可能日が減少。

イ 入場者数及び利用料金収入

区 分	平成26年度	平成27年度
入場者数（ホール）数値	69,077名	72,995名
利 用 料 金 収 入	41,573千円	44,527千円

西文化会館ウエスティ

ア 利用率目標達成度

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
利用率（日数）の目標値	60 %	60 %	61 %	61 %
利用率（日数）の実績値	58 %	61 %	57 %	56 %
目 標 達 成 度	96.7 %	101.6 %	93.4 %	91.8 %

イ 入場者数及び利用料金収入

区 分	平成26年度	平成27年度
入場者数（ホール）数値	32,354名	49,366名
利 用 料 金 収 入	31,524千円	32,306千円
駐 車 場 利 用 料 金 収 入	5,529千円	5,603千円

北文化会館

ア 利用率目標達成度

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
利用率（日数）の目標値	80 %	80 %	80 %	80 %
利用率（日数）の実績値	78 %	69 %	78 %	82 %
目 標 達 成 度	97.5 %	86.2 %	97.5 %	102.5 %

イ 入場者数及び利用料金収入

区 分	平成26年度	平成27年度
入場者数（ホール）数値	36,679名	39,682名
利 用 料 金 収 入	39,192千円	39,030千円

右京ふれあい文化会館

ア 利用率目標達成度

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
利用率（日数）の目標値	73%	75%	76%	76%
利用率（日数）の実績値	74%	74%	77%	73%
目 標 達 成 度	101.4%	98.6%	101.3%	96.1%

イ 入場者数及び利用料金収入

区 分	平成26年度	平成27年度
入場者数（ホール）数値	35,881名	38,517名
利 用 料 金 収 入	36,434千円	35,716千円
駐 車 場 利 用 料 金 収 入	5,545千円	5,403千円

（２）舞台運営に関する企画等

主催者から舞台美術，舞台音響，舞台照明等に関する企画業務を受託しました。

これまでの舞台運営業務を通して蓄積したノウハウを利用者に提供し，利用者はもとより，観客に満足していただける舞台運営に努めました。

（参考）平成２７年度 催し物の企画業務に関する受託状況

会 館 名	受託件数	受 託 内 容	収 入 金 額
東部文化会館	10件	バレエ・ダンスの発表会 保育園生活発表会 他	149,040円
呉竹文化センター	1件	バレエ発表会	10,800円
西文化会館ウエスティ	8件	バレエ発表会 幼稚園生活発表会 他	103,680円
右京ふれあい文化会館	4件	バレエ・ダンスコンサート 舞台発表会 他	178,200円
計	23件		441,720円

（３）施設・設備の維持管理

東部文化会館，呉竹文化センター，西文化会館ウエスティのいずれも開設から相当な年月を経ています。このため，施設の所有者である京都市による施設改修工事・修繕のほか，財団でも，京都市との指定管理契約に基づき，計画的な改修・修繕に取り組みました。

（参考）主な修繕事例（財団施工分）

会 館 名	修 繕 内 容
東部文化会館	冷却水循環ポンプ分解修繕
呉竹文化センター	地階機械室冷温水ヘッダ（還）逃し取替修繕
西文化会館ウエスティ	スタインウェイピアノ全弦交換修繕
北文化会館	バスケットゴール用プラスチック板交換修繕
右京ふれあい文化会館	創造活動室引戸修繕

２ お客様のサービス向上に向けた取組

（１）お客様満足度向上委員会（CS委員会）の推進【再掲】

京都コンサートホール ７ページ参照

（２）アンケート調査の実施及び「理事長への手紙」・お客様ご意見箱の設置【再掲】

京都コンサートホール ７ページ参照

（３）ホームページの充実

広報ツールとしても重要な役割をなすホームページの充実策として，平成２３年度から地域文化会館のトップページにて事業の案内を閲覧できるシステムの導入や，施設の空き情報をこれまで以上に見やすくするなど，利用者へのサービス向上を図りました。

(参考) ホームページ月平均アクセス件数【再掲】

会 館 名	平成26年度	平成27年度	27年度－26年度
京都コンサートホール	21,066件	27,956 件	＋ 6,890件
東 部 文 化 会 館	3,536件	2,990 件	－ 546件
呉 竹 文 化 セ ン タ ー	4,368件	4,314 件	－ 54件
西文化会館ウエスティ	3,129件	3,047 件	－ 82件
北 文 化 会 館	3,896件	3,453 件	－ 443件
右京ふれあい文化会館	4,217件	3,873 件	－ 344件
京 都 市 交 響 楽 団	52,917件	68,188 件	＋ 15,271件

※ロームシアター京都については未掲載

3 集客のための取組

地域文化会館割引制度

平成23年度からの利用料金制度導入に伴い、地域文化会館のホール利用を促進するため、平日のホールの追加利用・区分連続利用に対するサービスの向上に努めました。

(1) 平日直前利用割引制度

京都コンサートホール（大ホール・アンサンブルホールムラタ）、地域文化会館（ホール）のいずれかで、演奏会・コンサート・講演会等の諸手続きが完了しており、ホール本番利用日の2箇月前の日から本番までの平日利用に限り、ホールを準備・リハーサル等で新たに利用される場合は50％を割引く制度。

平成27年度 平日直前利用割引制度適用件数

会 館 名	受託件数	主 な 利 用 者
東部文化会館	6件	保育所、中学校吹奏楽部等
呉竹文化センター	0件	
西文化会館ウエスティ	8件	幼稚園、中学・高校吹奏楽部
北文化会館	2件	区役所、ライオンズクラブ
右京ふれあい文化会館	7件	バレエ教室、福祉施設等
計	23件	

(2) 平日連続区分利用割引制度

ホールを平日に2区分以上連続して利用する場合は、利用料金を15％割引く制度。

平成27年度 平日連続区分利用割引制度適用件数

会 館 名	受託件数	主 な 利 用 者
東部文化会館	39件	学校関係、保育所等
呉竹文化センター	76件	中学校吹奏楽部、学校関係等
西文化会館ウエスティ	31件	中学校・高校吹奏楽部、企業等
北文化会館	34件	中学校・高校吹奏楽部、ファミコスタジオ等
右京ふれあい文化会館	37件	中学校・高校吹奏楽部、バレエ教室等
計	217件	

■ ロームシアター京都

I 自主・共催事業〔全19事業25公演〕※第1号議案別紙参照

ロームシアター京都は、平成27年9月の竣工式に引き続き、内覧会等の準備業務を経て、平成28年1月10日に開館記念式典・記念公演を執り行いました。開館当日よりオープニング事業を開始し、新たな文化創造の拠点として劇場のオープンにふさわしい祝祭感あふれた事業をスタートさせ、新しい劇場のオープンを多くの市民の皆さまとともに祝いました。

また、平成28年度においても、引き続きオープニング事業として、生まれ変わった劇場がもつ可能性を十分に生かした幅広いラインアップを展開し、今後の京都の文化芸術振興を担う拠点としての確固たる礎を築いてまいります。

1 オープニング事業及びオープニング・プレ事業関連



ロームシアター京都オープニング事業検討委員会において検討された4つの柱を中心とするオープニング事業を実施し、京都らしい新たな「劇場文化」の構築に向けた事業をスタートさせました。また、一般利用者ととともにオープニングを祝う「冠事業」を実施し、新たな劇場の魅力と感動をより多くの方に実感していただきました。

なお、開館に先立っては、京都コンサートホールや地域文化会館等を利用したオープニング・プレ事業を実施し、新たな劇場への期待感を高めました。

【4つの柱と主な事業】

○創造 — これまでになかった多彩な文化芸術に触れる、ともに創る

- ・ロームシアター京都プロデュース・オペラ『フィデリオ』
- ・京都国際舞台芸術祭（KYOTO EXPERIMENT）2016 SPRING
- ・能楽特別公演～伝承 日本人の心～
- ・日本舞踊特別公演～輝く日本の舞と踊～
- ・ロシア国立ワガノワ・バレエ・アカデミー『くるみ割り人形』
- ・岡崎パブリック・インスタレーション『搬入プロジェクト —京都・岡崎計画—』



○育成 ― 文化芸術がより広く、より深く、浸透する

- ・小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトXIV
- ・小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトXIV 子どものためのオペラ
- ・高校生のためのオペラ音楽セレクション（プレ事業）
- ・ワガノワ・バレエ・アカデミー ワークショップ（プレ事業）



○交流 ― 京都と世界がつながる，京都から世界へ広がる

- ・第40回 京都ビッグ・バンド・フェスティバル
- ・第15回 京都さくらパレード
- ・八花絢爛～芸を競う，八花街の名妓たち～



○生活 ― 多彩で豊かなライフスタイルをともに享受する

- ・市民寄席

○その他

- ・京都市消防音楽隊発足60周年記念演奏会
- ・きもの×京響 彩コンサート
- ・談ス

（参考）冠事業

年 度	平成27年度	平成28年度 (見込)
事業数	11事業	124事業

※平成28年度は引き続き受付中のため，今後さらに事業数が増加する見込み。

2 広報・営業関連

オープニング事業パンフレットや機関誌、催物カレンダーの作成、内覧会の開催、ホームページやSNSの運用、賑わい事業者と連携した取組、また、様々な広報媒体への働きかけ等により、効果的な情報提供や話題作りを行い、新たな劇場への期待感を高めるとともに、施設の認知度を高める取組を進め、来場者や利用者の増加につなげました。

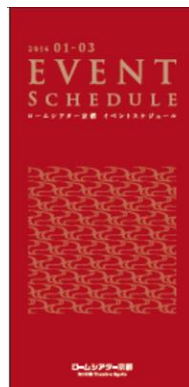
加えて、企業からの協賛金や文化庁を始めとする各種助成金の獲得へ向けた取組を行うとともに、平成26年度に開始した賛助会員制度（サポーター・パートナー会員）についても、新規の会員獲得に引き続き取り組み、外部資金の獲得等による劇場経営の基盤強化を図り、積極的な事業展開につなげてまいりました。



↑ オープン告知ポスター



↑ オープニング事業パンフレット



↑ イベントカレンダー



↑ 機関誌



↑ 地下鉄中吊り



↑ 地下鉄四条駅臨時シート貼り



↑ 地下鉄東山駅電照看板

Ⅱ 受託事業

1 指定管理者業務

(1) 施設管理者業務

開館に向けた準備業務として、各種マニュアル等の整備、委託業者の選定等を行ったほか、施設引き渡し後には、施設や設備等の動作確認や習熟訓練、備品の設置、防災訓練の実施等により、安全、安心で快適な劇場空間の提供に努めました。

開館後の施設利用に関しては、平成27年度を、新しい施設の利用がスムーズに行われるよう、ホール・楽屋の利用やお客様のご案内、また場内サービスの運営等について、業務内容や手順等を確認・確立していく期間とも位置付け、設備等の細かい調整なども行いながら、本格的な施設利用が開始される平成28年度以降を見据えた業務の実施に努めました。

また、利用者向け劇場見学会の実施や、下見や利用相談への丁寧な対応等により、プロフェッショナル、アマチュアを問わず、また公演や大会、学校行事、MICE等、様々な貸館利用の促進に向けた取組みを行いました。

【主な日程】

平成27年	9月	1日	施設引き渡し、施設管理開始
		5日	事務室、施設内へ移転
		13日	竣工式（主催：京都市）
			・式典（サウスホール） ・記念演奏会（メインホール） 指揮：小澤征爾 演奏：小澤征爾音楽塾オーケストラ 曲目：ベートーヴェン「交響曲第九番第四楽章」
	11月	13日	防災訓練
		22日～25日	内覧会
	12月	19日・21日	・各日とも11時／14時／17時の3回開催 利用者向け劇場見学会
平成28年	1月	10日	開館、施設利用開始

実績 1 施設利用率

区 分	平成27年度
利用率(日数)の実績値 メインホール	100 %
利用率(日数)の実績値 サウスホール	100 %
利用率(日数)の実績値 ノースホール	96 %

実績 2 入場者数

区 分	平成27年度
観 客 数 の 実 績 値	141,420 名
そ の 他 利 用 者 数 の 実 績 値	4,258 名
合 計	145,678 名

実績 3 利用料金収入

区 分	平成27年度
利 用 料 金 収 入	66,154千円

(2) 賑わいスペース事業

「京都会館賑わいスペース事業プラン」(平成25年5月策定)を推進するため、賑わいスペース事業者として京都市に選定されたカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社と協働し、パークプラザ等に設置されたブック&カフェ、レストラン、キオスクといった常設の店舗や催し等を通じて、ロームシアター京都が、市民や観光客の皆さまの新たな憩いの場となるよう努めました。

平成27年度は、施設引き渡し後、店舗等を整備し、開館にあわせ事業を開始しました。

【店舗等の概要】

① パークプラザ1階 ブック&カフェ

店舗名	京都岡崎 蔦屋書店
運 営	カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社
特 徴	スターバックスコーヒー(店内41席、テラス席132席)が出店し、購入前の本が読めるブック&カフェのスタイルの書店。併せて、雑貨販売やレンタサイクル、クロークなどのサービスも行う。 インフォメーションコーナーでは、岡崎地域や京都の情報を提供。 営業時間は、午前8時から午後10時まで。

② パークプラザ2階 レストラン

店舗名	京都モダンテラス
運 営	スタイル・ディベロップ株式会社
特 徴	洋食をベースに、京野菜などを使ったグリル料理を提供。朝食から、ホール公演終演後の夕食での利用にも対応(店内100席、テラス80席)。 営業時間は、午前8時から午後11時まで。 各ホール本番利用の際の開演前、幕間に行うビュッフェサービスも担う。

③ サウスホール1階ロビー内 キオスク

店舗名	ファミリーマート
運 営	カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社
特 徴	軽食やドリンク，日用品等を販売し，普段使いからホールイベント時のクイックショッピングにも対応。銀行ATMも設置。 営業時間は，午前8時から午後10時まで。

④ 共通ロビー3階

企画名	BOOK&ART GALLERIA
運 営	カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社
特 徴	BOOKとARTでつながる文化サロンをコンセプトに，ソファセットや机，いす等を設置するとともに，本棚には閲覧用の書籍を置き，市民の皆さんが生活文化や劇場文化に親しむことのできる憩いとくつろぎの空間を提供。 営業時間は，午前9時から午後7時まで（開館時間等に応じて変更）。

実績 入店者数

区 分	平成27年度
入 店 者 数 の 実 績 値	394,556 名

（3）ミュージックサロンの運営

パークプラザの3階共通ロビーに設けられたミュージックサロンは，音楽を中心に，展示や映像上映，またイベント開催等を通じて，市民の皆様に様々な形で舞台芸術に触れていただく場となることを目指しており，公益財団法人ローム ミュージック ファンデーションと共同で運営しています。平成27年度は，ロームシアター京都で2月に開催された小澤征爾音楽塾の公演に関連し，これまでの小澤征爾音楽塾公演で実際に使用された衣装や小澤征爾氏直筆の書込みが入った楽譜などを展示する「小澤征爾音楽塾展」等を開催しました。

開催内容

期間	内容
1月10日～3月19日	小澤征爾音楽塾展
3月21日	イベント「朝岡聡がひもとく“オペラの謎”」
3月22日～	オペラ映像上映

実績 来場者数

区 分	平成27年度
来 場 者 数 の 実 績 値	7,587 名

2 場内サービスの実施

(1) 総合案内・チケットカウンターの運営

施設のご案内やチケット販売を行う「総合案内・チケットカウンター」を1階に設け、運営を開始しました。インターネット、電話、窓口での予約・購入が可能な、京都コンサートホールと共通のチケット販売システムを導入し、両施設のチケット販売を一体的に行うとともに、施設利用者（主催者）からの販売受託も行い、お客様の利便性向上に努めました。

(2) レセプション業務、ビュッフェサービスの実施

催しに合わせ、ホール・ホワイエ内でのチケット確認や場内・客席のご案内、客席監視、クローク、非常時の誘導等を行うレセプション業務について、外部の専門業者へ委託し実施しました。なお、開始に当たっては、当財団と共同で接遇研修等を実施し、ロームシアター京都の施設構造などを踏まえたサービスとなるよう努めました。

また、メインホールとサウスホールに設置されたビュッフェカウンターでは、施設内のレストラン（京都モダンテラス）を運営する事業者が、各ホール本番利用の際の開演前、幕間にビュッフェサービスを実施致しました。

3 賛助会員制度の運営

(1) 賛助会員制度の運営

京都コンサートホールならびにロームシアター京都の自主事業の一層の充実のため、年間を通じた支援を受けるべく、賛助会員制度（サポーター・パートナー会員）を設けています。会員の方には、会報の送付、チケットの先行予約のほか、平成27年度は会員向けの特別内覧会（ロームシアター京都）を開催するなど、会員の方に事業内容を深くご理解いただき継続してご支援いただけるように努めました。

なお、寄附金は、ロームシアター京都および京都コンサートホールの主催事業の事業費に充当いたしました。

(参考) 会員数と寄附金額

会員区分	平成27年度
スペシャルサポーター（法人）	3件 150万円
サポーター（法人）	36件 390万円
スペシャルパートナー（個人）	47件 216万円
パートナー（個人）	91件 182万円
合 計	177件 938万円

※平成28年3月末現在。平成26年度にお申込みいただいた方を含む。

(2) その他協賛金等の獲得

賛助会員による年間を通じた支援獲得とは別に、公演を特定した協賛金等により企業からの協賛金獲得に向けた取組を行いました。

■ 京都市交響楽団

I 自主・共催事業

〔全34事業53公演（ただし、演奏事業に限る。）〕※第1号議案別紙参照

日本を代表する3人の指揮者陣，広上淳一，高関健，下野竜也のそれぞれの特色を生かした魅力的なプログラムに加え，国内外で活躍する指揮者・ソリストを迎え，京響ならではの芸術性の高い演奏会，オリジナリティーあふれる演奏会を開催しました。

また，京都市交響楽団創立60周年記念事業のスタートを切る取組として，4都市を巡るヨーロッパ公演を実施し，現地においても高い評価を得るなど「世界に誇れるオーケストラ」としての京都市交響楽団をアピールすることができました。

1 定期演奏会

シューベルトの「交響曲第8（9）番「ザ・グレート」」，ブラームスの「交響曲第2番」，マーラーの「交響曲第6番「悲劇的」」，ラヴェルの「ピアノ協奏曲」，ショスタコーヴィチの「交響曲第5番」，コリリアーノの「交響曲第1番」など，古典派から近・現代までのレパートリーをバランスよく選曲した演奏会を開催しました。

また，指揮者には，京都市交響楽団の常任指揮者陣の広上淳一，高関健，下野竜也，同じく桂冠指揮者の大友直人，欧米を中心に目覚ましい活躍を見せるロベルト・トレヴィーノ，リール管弦楽団の監督を務めるジャン＝クロード・カサドシュ，世界で最も傑出したピアニストであり指揮者でもあるウラディーミル・アシュケナージなど，若手から巨匠まで幅広く迎え，ソリストには，ヴァイオリンの成田達輝，コリヤ・ブラッハー，ピアノのアンティ・シーララ，萩原麻未，ソン・ヨルムといった実力派を招き，充実した魅力のある演奏会の提供に努めました。

更に，平成27年度から，より多くの市民の皆様に京都市交響楽団の定期演奏会を楽しんでいただけるよう，隔月で2回公演を実施しました。

2 特別演奏会

スプリングコンサートでは，プロジェクション・マッピングが京都コンサートホールに初登場し，春にきらめく色とりどりの名曲と光のファンタジーを常任指揮者・広上淳一の指揮でお楽しみいただきました。

第九コンサートでは，常任首席客演指揮者・高関健を迎え，一年の締めくくりに相応しい演奏をお届けするとともに，ニューイヤーコンサートでは，ピッツバーグ響のレジデント・コンダクターであるファウジ・ハイモ어의タクトのもと，新年にふさわしい華やかな曲目をお楽しみいただきました。

3 市外公演

恒例の名古屋公演及び大阪特別公演では、常任指揮者・広上淳一の指揮により、ベルリオーズの「幻想交響曲」(名古屋公演)、シューベルトの「交響曲第8(9)番「ザ・グレート」」(大阪特別公演)、さらにピアノに清水和音(名古屋公演)、ヴァイオリンに松田理奈(大阪特別公演)を迎えた協奏曲などを上演し、京都市外の多くのお客様に京都市交響楽団の高い演奏力を披露することができました。

4 オーケストラ・ディスカバリー ―こどものためのオーケストラ入門―

「オーケストラ大発見！」をテーマとして、常任指揮者・広上淳一をはじめとした4人の指揮者を迎え、名曲の演奏とわかりやすい解説でオーケストラの魅力を伝えることにより、クラシック音楽入門層のオーケストラやクラシック音楽に関する理解や関心を高める取組を行いました。

5 みんなのコンサート

市内6箇所の文化会館を会場として、廉価(前売800円、当日1,000円)な料金設定で、また、0歳から入場できる演奏会も用意するなど、クラシック音楽に接する機会が少ない市民の皆様にも良質なオーケストラの演奏に提供する機会を設け、クラシック音楽の普及やクラシックファンの掘り起しに努めました。

6 京響プレミアム

クラシック以外の音楽や音楽ジャンルを超えたアーティスト・芸術文化とのコラボレーション企画である「京響プレミアム」では、サイレント映画とライブオーケストラ演奏の組み合わせにより、普段とは違う京響の魅力を披露しました。

7 京都 発見！クラシック

著名人をゲストに迎え、トークとオーケストラ演奏の2部で構成する「京都発見！クラシック」では、ゲストとして脳内学者の茂木健一、演出家の宮本亜門を迎え、多くのお客様にご来場いただき、新しい形のクラシックコンサートの楽しみ方を体験していただくことができました。

8 共催事業

ポップスアーティストとのコラボレーションによる演奏会「シンフォニック・エヴォリューション with 比嘉栄昇」や京都市内の小学生を対象とした音楽鑑賞教室を開催するなど、クラシック音楽の普及と新たなクラシックファンの獲得を図りました。

9 海外公演

京都市交響楽団創立60周年記念事業のスタートを切る取組として、プルゼニ(チェコ)、ケルン(ドイツ)、アムステルダム(オランダ)、フィレンツェ(イタリア)の4都市を巡るヨーロッパ公演を実施し、京都市交響楽団を世界にアピールするとともに、京都市の姉妹都市交流(ケルン、フィレンツェ)や国際交流に貢献をしました。

10 その他演奏事業等

(1) 楽器講習会，訪問演奏会等

中学生や高校生を対象とした楽器講習会，福祉施設への訪問演奏会，京都市交響楽団ヨーロッパ公演壮行演奏会を実施しました。

(2) 京都市交響楽団練習風景公開事業

京都市交響楽団が身近な存在であることをアピールするため，毎月1回1時間，50名程度の見学者を募集し，練習風景を一般に公開しました。

(3) 京都市ジュニアオーケストラ，若手音楽家との連携

将来の音楽文化の担い手を育成し，京都の音楽文化をさらに発展させるため，京都市ジュニアオーケストラの演奏指導を行いました。

II 受託事業

京都市交響楽団の京都市内外での知名度の向上を図るとともに，より充実した自主事業を実施するための資金を獲得するため，京都市内外の学生を対象とした音楽鑑賞教室やびわ湖ホール主催のオペラ等，48公演の企画及び開催業務を受託しました。

■その他取組

I 事業運営の透明化、適正化の推進

1 企画運営委員会（全4回）・貸館等審査委員会

京都コンサートホール及びロームシアター京都を審議対象とする「公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団企画運営委員会」を四半期毎に開催し、企画・運営に関する基本事項の審議や助言をいただきました。

また、両館の貸館事業をより適切に運営するため、「貸館等審査委員会」を開催し、事業運営の透明化及び適正化の推進を図ってまいりました。

2 舞台芸術専門委員会

舞台芸術の専門委員による舞台芸術専門委員会を開催し、京都ならではの舞台芸術の創造や発信を目的とする舞台芸術活動の助言をいただきました。

II 環境への配慮

「環境モデル都市・京都」の取組として、平成20年2月に認証取得したKESステップ1について、平成28年2月に継続認証を取得しました。

また、前年度に引き続き、平成27年11月に開催された「世界の京都・まちの美化市民総行動」による京都市内の美化活動に当財団職員も多数参加し、地球環境にやさしいまちづくりに貢献しました。

III 情報の収集

1 公立文化施設協議会

公立文化施設を構成員とする、公益社団法人全国公立文化施設協会、公益社団法人全国公立文化施設協会近畿支部、京都府公立文化施設協議会に京都コンサートホールが加盟し、事業に参画しました。

平成27年度は、京都コンサートホールが、公益社団法人全国公立文化施設協会近畿支部事業活性化小部会長として、積極的に協議会の運営に貢献しました。

2 コンサートホール企画連絡会議等への参加

運営環境が類似する国内主要ホールを構成員とするコンサートホール企画連絡会議に京都コンサートホールが参加し、事業や昨今の公立施設を取り巻く環境の変化について情報や意見の交換を行いました。

■ 組織運営のための取組

I 人材育成・職員研修

職員一人ひとりが、常に知識、意欲、技術の向上を図ることで、利用者により一層好感度を高めていただくとともに、市民の文化芸術活動を適切に支援し、さらに当財団が文化芸術の振興のための事業を効果的に行うことができるよう研修を実施しました。

接遇・応対研修については、下記のとおり研修を実施し、職員の接遇・応対マナーの向上に取り組みました。

また、各施設において消防訓練の実施や、AED講習など、様々な危機管理・安全対策研修や講習を実施することにより、当財団職員の緊急時における対応・知識力を向上させ、不測の事態にも冷静に対応できるように備えました。

さらに、ロームシアター京都においては、舞台安全管理研修等も実施し、お客様に安全・安心に施設をご利用していただけるよう万全の態勢を整えました。

(参考) 平成27年度 研修内容

研 修 名	接遇マナー研修
実 施 日	平成28年2月16日 (火)
受講人数	46名
研修内容	研修「接遇マナー研修」 講師 株式会社インソース 安発 早代子 氏
会 場	北文化会館

II 新人事給与制度の更なる強化

平成25年4月から運用を開始した新人事給与制度により、経営の安定化を図るとともに、プロパー職員が財団運営の中心となって働きがいのある職場づくりを進めるよう取り組んで参りました。

平成27年度については、これまで財団が培ってきた事務及び技術のノウハウを着実に伝承することができるように嘱託職員等の人事・給与制度を構築しました。

III 組織・職員体制

1 組織改正

平成27年度は、コンサートホール、地域文化会館の3期目の指定管理期間のスタート、京都市交響楽団の海外公演及びロームシアター京都のリニューアルオープンなど、様々な節目を迎え、財政規模の拡大、事業内容等が多様化することから持続可能な運用ができるよう、組織体制を整えてまいりました。

総務部、事業企画部、業務管理部、ロームシアター京都、京都市交響楽団の5部門体制については継続するとともに、ロームシアター京都に総務部長、業務管理課に文化会館担当課長を配置し、執行体制の強化を図るとともに業務の責任体制を明確にしました。

2 組織運営

以下の会議開催により連絡体制の確立、情報の迅速な共有化等を図り円滑な財団運営に努めました。

- ① 専務理事，事務局長，シニアマネージャー，業務管理部長，ロームシアター京都支配人，課長及び文化会館の各館長を構成員とする所属長会を開催
- ② 業務管理部長，チーフコーディネイター，文化会館の副館長を構成員とする文化会館連絡会議を開催

これらの諸会議を通じ，京都コンサートホール，地域文化会館，ロームシアター京都及び京都市交響楽団の管理運営に係る事項について情報を共有し，貸館業務，施設管理業務の統一的な処理とそれぞれのホール特性に応じた自主事業の展開等について検討しました。

3 人事異動

平成27年4月1日付けで総数24名の人事異動を行いました。

(参考1) 財団職員数の推移

職 名	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
固 有 職 員	33名	32名	32名	32名
嘱 託 職 員	25名	28名	30名	42名
市からの出向職員	6名	6名	6名	7名
市派遣嘱託職員	92名	90名	89名	89名
計	156名	156名	157名	170名

※各年度すべて4月1日現在の人数とする

※平成25・27年度については8月1日現在の人数とする

(参考2) 財団役職別職員数の推移

職 名	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
事 務 局 長	1名	1名	1名	1名
部 長 級	2名	5名	5名	5名
課 長 級	11名	10名	11名	12名
係 長 級	14名	16名	15名	14名
リ ー ダ ー (主 任)	14名	13名	14名	14名
職 員	23名	22名	23名	36名
音 楽 ス タ ッ プ	6名	4名	3名	4名
楽 団 員	85名	85名	85名	84名
計	156名	156名	157名	170名

※平成25年度から主任についてはリーダーに名称変更

IV 庶務報告

1 役員会の開催

平成27年度は次のとおり、理事会及び評議員会を開催し、すべての議案について可決されました。

(1) 第1回理事会 平成27年5月25日

- <議案> ・平成26年度事業報告について
・平成26年度特定費用準備資金及び特定資産取得・改良資金の保有について
・平成26年度補正予算について
・平成26年度決算について
・平成27年度補正予算について
・平成27年度第1回評議員会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項について
・企画運営委員会委員の選任について
・顧問の選任について
・京都国際舞台芸術祭（KYOTO EXPERIMENT）実行委員会の中核団体への移行について
- <報告> ・京都市交響楽団60周年記念事業について

(2) 第1回評議員会 平成27年6月12日

- <議案> ・平成26年度事業報告について
・平成26年度決算について
・理事及び評議員の退任について
・監事の退任について
・理事の選任について
・監事の選任について
・評議員の選任について
- <報告> ・ロームシアター京都について

(3) 第2回理事会 平成27年8月26日

- <議案> ・従たる事務所の開設について
・平成27年度特別寄附金の受領について
- <報告> ・契約事務取扱要領第4条に基づく契約について
・ロームシアター京都について

(4) 第3回理事会 平成27年11月11日

- <議案> ・平成28年度主要事業計画について
・理事会の決議事項である規程の改正について

- <報告> ・理事長の決議事項である規程の改正について
 ・新中期経営計画2016の改訂方針について
 ・ロームシアター京都について
 ・地域文化会館について

(5) 第4回理事会 平成28年1月26日

- <議案> ・京都国際舞台芸術祭（KYOTO EXPERIMENT）実行委員会への債務保証について
 <報告> ・理事長の決議事項である規程の改正について
 ・ロームシアター京都について

(6) 第5回理事会 平成28年3月23日

- <議案> ・新中期経営計画2017（案）について
 ・平成27年度補正予算について
 ・平成28年度特定寄附金の受領について
 ・平成28年度事業計画について
 ・平成28年度収支予算について
 ・公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団嘱託職員人事・給与制度の改正について

2 役員の異動

(1) 第1回理事会の承認による

ア 顧問の就任

氏 名	役 職（承認日現在）	就 任 日
津 田 大 三	京都市会議長	平成27年5月25日

イ 顧問の退任

氏 名	役 職（退任日現在）	退 任 日
中 村 三之助	前京都市会議長	平成27年5月25日

(2) 第1回評議員会の承認による

ア 評議員の就任

氏 名	役 職（承認日現在）	就 任 日
北 村 信 幸	京都市文化市民局文化芸術都市推進室長	平成27年6月19日
近 藤 誠 一		〃
寺 井 友 秀	NHK京都放送局長	〃
鷲 田 清 一	京都市立芸術大学長	〃

イ 評議員の退任

氏 名	役 職（退任日現在）	退 任 日
奥 美 里	前京都市文化市民局文化芸術担当局長	平成２７年６月１９日
河 内 秀 則	前ＮＨＫ京都放送局長	〃
建 畠 哲	前京都市立芸術大学長	〃

ウ 理事の就任

氏 名	役 職（承認日現在）	就 任 日
木 咲 圭 二	京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化事業推進部長	平成２７年６月１９日

エ 理事の退任

氏 名	役 職（退任日現在）	退 任 日
森 川 佳 昭	京都市文化市民局共同参画社会推進部長	平成２７年６月１９日

オ 監事の就任

氏 名	役 職（承認日現在）	就 任 日
森 川 佳 昭	京都市文化市民局共同参画社会推進部長	平成２７年６月１９日

カ 監事の退任

氏 名	役 職（退任日現在）	退 任 日
宮 田 英 喜	前京都市文化市民局共同参画社会推進部長	平成２７年６月１９日

３ 登記事項

第１回評議員会による評議員・理事及び監事の変更。

氏 名	登 記 日
評 議 員 北 村 信 幸	平成２７年７月７日
評 議 員 近 藤 誠 一	〃
評 議 員 寺 井 友 秀	〃
評 議 員 鷺 田 清 一	〃
理 事 木 咲 圭 二	〃
監 事 森 川 佳 昭	〃

『収益事業』

I 公益目的外の施設提供事業

1 駐車場経営

指定管理業務として主に来館者向け駐車場として運営いたしました。

(参考)

会 館 名	駐車可能台数	収入金額
京 都 コ ン サ ー ト ホ ー ル	100台	20,364,690円
東 部 文 化 会 館	37台	3,978,700円
西文化会館 ウェスティ	53台	5,603,300円
右京ふれあい文化会館	67台	5,402,500円
計	257台	35,349,190円

2 オリジナルグッズ販売等

京都コンサートホールオリジナルグッズ（9種類）、音楽に関連したグッズ（約30種類）及び京響オリジナルグッズ（3種類）を販売しました。

(参考)

項 目	収入金額
京都コンサートホールグッズ収入	818,627円
プログラム等販売収入	103,800円
チケット印刷	824,095円
京響オリジナルグッズ収入	648,002円
計	2,394,524円

3 プレイガイドの運営

主催者から、入場券の作成業務及び入場券の販売業務を受託し、それぞれのプレイガイドで販売しました。

(参考) 入場券販売業務受託状況

会 館 名	受託件数	収入金額
京 都 コ ン サ ー ト ホ ー ル	172件	19,080,795円
東 部 文 化 会 館	3件	580円
呉 竹 文 化 セ ン タ ー	11件	44,710円
西文化会館 ウェスティ	3件	6,700円
北 文 化 会 館	3件	2,800円
右京ふれあい文化会館	1件	220円
ロームシアター京都	15件	368,153円
計	208件	19,503,958円

4 自動販売機の管理運営

京都コンサートホールに設置された自動販売機の管理運営を行いました。

(参考)

会 館 名	収入金額
京都コンサートホール	26,984円
計	26,984円

平成 2 7 年度

決 算 書

公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

貸 借 対 照 表

平成28年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	370,597,488	246,477,781	124,119,707
未収金	182,087,348	130,033,974	52,053,374
貯蔵品	5,230,755	5,442,380	△ 211,625
立替金	4,382,722	0	4,382,722
前払金	738,339	5,536	732,803
流動資産合計	563,036,652	381,959,671	181,076,981
2. 固定資産			
(1)基本財産			
投資有価証券	83,000,000	83,000,000	0
定期預金	20,000,000	20,000,000	0
基本財産合計	103,000,000	103,000,000	0
(2)特定資産			
記念事業引当資産	74,920,000	158,186,000	△ 83,266,000
管理運営引当資産	352,000,000	352,000,000	0
退職給付引当資産	186,438,802	189,791,869	△ 3,353,067
特定費用準備資金	106,701,910	125,306,910	△ 18,605,000
特定資産取得・改良資金	3,857,488	3,857,488	0
特定資産合計	723,918,200	829,142,267	△ 105,224,067
(3)その他固定資産			
什器備品	9,184,403	13,560,861	△ 4,376,458
電話加入権	314,370	314,370	0
その他固定資産合計	9,498,773	13,875,231	△ 4,376,458
固定資産合計	836,416,973	946,017,498	△ 109,600,525
資産合計	1,399,453,625	1,327,977,169	71,476,456
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	191,069,312	150,151,408	40,917,904
未払法人税等	320,000	320,000	0
前受金	231,470,780	142,556,171	88,914,609
預り金	95,028,986	36,185,180	58,843,806
仮受金	2,040	360	1,680
流動負債合計	517,891,118	329,213,119	188,677,999
2. 固定負債			
退職給付引当金	186,438,802	189,791,869	△ 3,353,067
固定負債合計	186,438,802	189,791,869	△ 3,353,067
負債合計	704,329,920	519,004,988	185,324,932
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
京都市出えん金	55,000,000	55,000,000	0
指定正味財産合計	55,000,000	55,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(55,000,000)	(55,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	640,123,705	753,972,181	△ 113,848,476
(うち特定資産への充当額)	(48,000,000)	(48,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(537,479,398)	(639,350,398)	(△101,871,000)
正味財産合計	695,123,705	808,972,181	△ 113,848,476
負債及び正味財産合計	1,399,453,625	1,327,977,169	71,476,456

貸借対照表内訳書

平成28年3月31日現在

(単位：円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業等 会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	261,499,464	102,890,160	6,207,864	0	370,597,488
未収金	163,712,452	23,256,903	0	4,882,007	182,087,348
貯蔵品		5,230,755	0	0	5,230,755
立替金	4,382,722	0	0	0	4,382,722
前払金	628,183	0	110,156	0	738,339
流動資産合計	430,222,821	131,377,818	6,318,020	4,882,007	563,036,652
2. 固定資産					
(1)基本財産					
投資有価証券	83,000,000	0	0	0	83,000,000
定期預金	20,000,000	0	0	0	20,000,000
基本財産合計	103,000,000	0	0	0	103,000,000
(2)特定資産					
記念事業引当資産	74,920,000	0	0	0	74,920,000
管理運営引当資産	352,000,000	0	0	0	352,000,000
退職給付引当資産	149,411,500	33,594,507	3,432,795	0	186,438,802
特定費用準備資金	106,701,910	0	0	0	106,701,910
特定資産取得・改良資金	3,857,488	0	0	0	3,857,488
特定資産合計	686,890,898	33,594,507	3,432,795	0	723,918,200
(3)その他固定資産					
什器備品	8,409,115	314,887	460,401	0	9,184,403
電話加入権	314,370	0	0	0	314,370
その他固定資産合計	8,723,485	314,887	460,401	0	9,498,773
固定資産合計	798,614,383	33,909,394	3,893,196	0	836,416,973
資産合計	1,228,837,204	165,287,212	10,211,216	4,882,007	1,399,453,625
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	175,409,764	15,570,890	4,970,665	4,882,007	191,069,312
未払法人税等	0	0	320,000	0	320,000
前受金	231,470,780	0	0	0	231,470,780
預り金	19,223,873	74,317,357	1,487,756	0	95,028,986
仮受金	0	2,040	0	0	2,040
流動負債合計	426,104,417	89,890,287	6,778,421	4,882,007	517,891,118
2. 固定負債					
退職給付引当金	149,411,500	33,594,507	3,432,795	0	186,438,802
固定負債合計	149,411,500	33,594,507	3,432,795	0	186,438,802
負債合計	575,515,917	123,484,794	10,211,216	4,882,007	704,329,920
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産					
京都市出えん金	55,000,000	0	0	0	55,000,000
指定正味財産合計	55,000,000	0	0	0	55,000,000
(うち基本財産への充当額)	(55,000,000)	(0)	(0)	(0)	(55,000,000)
(うち特定財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	598,321,287	41,802,418	0	0	640,123,705
(うち基本財産への充当額)	(48,000,000)	(0)	(0)	(0)	(48,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(537,479,398)	(0)	(0)	(0)	(537,479,398)
正味財産合計	653,321,287	41,802,418	0	0	695,123,705
負債及び正味財産合計	1,228,837,204	165,287,212	10,211,216	4,882,007	1,399,453,625

平成 2 7 年度正味財産増減計算書

平成 2 7 年 4 月 1 日から平成 2 8 年 3 月 3 1 日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1)経常収益				
①基本財産運用益	1,240,248	1,241,690	△ 1,442	
1 基本財産運用益	1,240,248	1,241,690	△ 1,442	
基本財産受取利息等	1,240,248	1,241,690	△ 1,442	
②特定資産運用益	777,981	1,139,094	△ 361,113	
1 特定資産運用益	777,981	1,139,094	△ 361,113	
特定資産受取利息等	777,981	1,139,094	△ 361,113	
③事業収益	1,731,773,168	1,350,631,572	381,141,596	
1 自主・共催事業収益	658,042,460	387,061,834	270,980,626	
入場料収益	156,295,362	119,719,288	36,576,074	
参加料収益	4,475,556	2,403,720	2,071,836	
友の会会費	58,520,500	51,725,000	6,795,500	
京響コーラス会費	2,292,000	2,292,000	0	
広告料収益	39,512,200	14,250,000	25,262,200	
共催事業収益	256,661,306	66,087,680	190,573,626	
助成金収益	137,265,592	126,281,788	10,983,804	
物品販売等収益	2,263,944	3,822,424	△ 1,558,480	
著作権隣接権等収益	756,000	479,934	276,066	
2 事業受託収益	90,657,004	124,781,989	△ 34,124,985	
事業受託収益	90,657,004	124,781,989	△ 34,124,985	
3 管理受託収益	595,336,000	483,274,000	112,062,000	
管理受託収益	595,336,000	483,274,000	112,062,000	
4 利用料収益	368,619,378	345,884,673	22,734,705	
ホール利用料金収益	333,270,188	306,985,753	26,284,435	
駐車場利用料金収益	35,349,190	38,898,920	△ 3,549,730	
5 その他事業収益	19,118,326	9,629,076	9,489,250	
企画・演出手数料等収益	5,718,029	5,683,252	34,777	
賑わい事業収益	4,860,000	0	4,860,000	
プレカ`仆`事務手数料収益	8,540,297	3,945,824	4,594,473	
④受取補助金等	691,651,341	676,495,776	15,155,565	
1 受取地方公共団体補助金	691,651,341	676,495,776	15,155,565	
京都市補助金	691,651,341	676,495,776	15,155,565	
⑤受取寄付金	9,640,000	6,560,000	3,080,000	
1 受取寄付金	9,640,000	6,560,000	3,080,000	
寄付金収益	9,640,000	6,560,000	3,080,000	
⑥雑収益	4,018,329	3,034,602	983,727	
1 雑収益	4,018,329	3,034,602	983,727	
受取利息等	908	1,405	△ 497	
管理手数料等収益	2,538,684	1,999,699	538,985	
雑収益	1,478,737	1,033,498	445,239	
経常収益合計	2,439,101,067	2,039,102,734	399,998,333	

平成 2 7 年度正味財産増減計算書

平成 2 7 年 4 月 1 日から平成 2 8 年 3 月 3 1 日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
(2)経常費用				
①事業費	2, 529, 041, 776	2, 019, 043, 841	509, 997, 935	
役員報酬	4, 652, 517	4, 430, 966	221, 551	
給料手当	996, 914, 748	936, 856, 490	60, 058, 258	
退職給付費用	7, 613, 432	6, 543, 529	1, 069, 903	
臨時雇賃金	17, 128, 067	26, 730, 903	△ 9, 602, 836	
福利厚生費	161, 909, 779	150, 663, 603	11, 246, 176	
会議費	1, 316	6, 432	△ 5, 116	
旅費交通費	94, 862, 329	29, 474, 075	65, 388, 254	
通信運搬費	38, 785, 019	15, 570, 595	23, 214, 424	
減価償却費	9, 279, 039	8, 998, 717	280, 322	
消耗什器備品費	12, 113, 089	3, 125, 369	8, 987, 720	
消耗品費	34, 011, 536	21, 621, 249	12, 390, 287	
商品費	1, 136, 594	1, 231, 467	△ 94, 873	
見本費	0	3, 231	△ 3, 231	
修繕費	22, 955, 366	21, 650, 853	1, 304, 513	
印刷製本費	41, 988, 041	28, 146, 353	13, 841, 688	
広告宣伝費	42, 520, 006	31, 022, 702	11, 497, 304	
光熱水料費	166, 447, 581	146, 026, 441	20, 421, 140	
賃借料	58, 520, 755	46, 851, 820	11, 668, 935	
保険料	4, 886, 440	1, 850, 395	3, 036, 045	
諸謝金	2, 474, 877	1, 740, 166	734, 711	
租税公課	44, 522, 141	35, 291, 134	9, 231, 007	
支払負担金	30, 179, 207	12, 673, 938	17, 505, 269	
チケット購入額	600, 000	0	600, 000	
支援事業助成金	7, 296, 380	9, 836, 195	△ 2, 539, 815	
委託費	719, 123, 432	471, 784, 573	247, 338, 859	
接遇交際費	50, 943	93, 264	△ 42, 321	
支払手数料等	6, 089, 442	4, 328, 924	1, 760, 518	
雑費	2, 979, 700	2, 490, 457	489, 243	
②管理費	23, 587, 767	24, 445, 071	△ 857, 304	
役員報酬	2, 015, 017	1, 838, 016	177, 001	
給料手当	10, 157, 442	12, 126, 129	△ 1, 968, 687	
退職給付費用	264, 353	284, 389	△ 20, 036	
臨時雇賃金	0	696, 965	△ 696, 965	
福利厚生費	3, 039, 434	3, 459, 997	△ 420, 563	
会議費	84, 104	59, 958	24, 146	
旅費交通費	218, 270	328, 830	△ 110, 560	
通信運搬費	86, 061	85, 423	638	
減価償却費	192, 859	689, 172	△ 496, 313	
消耗品費	101, 304	550, 309	△ 449, 005	
印刷製本費	452, 932	95, 904	357, 028	
諸謝金	1, 814, 400	1, 814, 400	0	

平成 2 7 年度正味財産増減計算書

平成 2 7 年 4 月 1 日から平成 2 8 年 3 月 3 1 日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
租税公課	1,192,396	1,377,606	△ 185,210	
支払負担金	235,040	274,540	△ 39,500	
委託費	3,660,703	722,542	2,938,161	
接遇交際費	53,000	17,720	35,280	
支払手数料等	20,452	23,171	△ 2,719	
経常費用合計	2,552,629,543	2,043,488,912	509,140,631	
当期経常増減額	△ 113,528,476	△ 4,386,178	△ 109,142,298	
2. 経常外増減の部				
(1)経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2)経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	△ 113,528,476	△ 4,386,178	△ 109,142,298	
法人税、住民税及び事業税	320,000	320,000	0	
当期一般正味財産増減額	△ 113,848,476	△ 4,706,178	△ 109,142,298	
一般正味財産期首残高	753,972,181	758,678,359	△ 4,706,178	
一般正味財産期末残高	640,123,705	753,972,181	△ 113,848,476	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	55,000,000	55,000,000	0	
指定正味財産期末残高	55,000,000	55,000,000	0	
III 正味財産期末残高	695,123,705	808,972,181	△ 113,848,476	

平成 2 7 年度正味財産増減計算書 内訳書

平成 2 7 年 4 月 1 日から平成 2 8 年 3 月 3 1 日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業			収益事業等	法人会計	内部取引消去	合 計
	公 1	公 2	小 計	物品販売等 公益目的外事業			
	文化芸術事業	オーケストラによる 文化芸術事業					
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1)経常収益							
①基本財産運用益	1,240,248	0	1,240,248	0	0	0	1,240,248
1 基本財産運用益	1,240,248	0	1,240,248	0	0	0	1,240,248
基本財産受取利息等	1,240,248	0	1,240,248	0	0	0	1,240,248
②特定資産運用益	755,481	22,500	777,981	0	0	0	777,981
1 特定資産運用益	755,481	22,500	777,981	0	0	0	777,981
特定資産受取利息等	755,481	22,500	777,981	0	0	0	777,981
③事業収益	1,269,828,734	426,395,399	1,696,224,133	175,378,116	23,587,767	△ 163,416,848	1,731,773,168
1 自主・共催事業収益	354,681,636	300,340,880	655,022,516	3,532,674	0	△ 512,730	658,042,460
入場料収益	86,197,186	70,098,176	156,295,362	0	0	0	156,295,362
参加料収益	4,475,556	0	4,475,556	0	0	0	4,475,556
友の会会費	2,020,000	56,500,500	58,520,500	0	0	0	58,520,500
京響コース会費	0	2,292,000	2,292,000	0	0	0	2,292,000
広告料収益	24,716,200	14,796,000	39,512,200	0	0	0	39,512,200
共催事業収益	197,399,336	59,261,970	256,661,306	0	0	0	256,661,306
助成金収益	39,873,358	97,392,234	137,265,592	0	0	0	137,265,592
物品販売等収益	0	0	0	2,776,674	0	△ 512,730	2,263,944
著作権隣接権等収益	0	0	0	756,000	0	0	756,000
2 事業受託収益	1,632,960	126,054,519	127,687,479	0	0	△ 37,030,475	90,657,004
事業受託収益	1,632,960	126,054,519	127,687,479	0	0	△ 37,030,475	90,657,004
3 管理受託収益	514,610,737	0	514,610,737	57,137,496	23,587,767	0	595,336,000
管理受託収益	514,610,737	0	514,610,737	57,137,496	23,587,767	0	595,336,000
4 利用料収益	398,903,401	0	398,903,401	84,719,662	0	△ 115,003,685	368,619,378
ホール利用料金収益	398,903,401	0	398,903,401	49,370,472	0	△ 115,003,685	333,270,188
駐車場利用料金収益	0	0	0	35,349,190	0	0	35,349,190
5 その他事業収益	0	0	0	29,988,284	0	△ 10,869,958	19,118,326
企画・演出手数料等収益	0	0	0	5,718,029	0	0	5,718,029
賑わい事業収益	0	0	0	4,860,000	0	0	4,860,000
プレイバック事務手数料収益	0	0	0	19,410,255	0	△ 10,869,958	8,540,297
④受取補助金等	0	686,152,040	686,152,040	5,499,301	0	0	691,651,341
1 受取地方公共団体補助金	0	686,152,040	686,152,040	5,499,301	0	0	691,651,341
京都市補助金	0	686,152,040	686,152,040	5,499,301	0	0	691,651,341
⑤受取寄付金	8,140,000	1,500,000	9,640,000	0	0	0	9,640,000
1 受取寄付金	8,140,000	1,500,000	9,640,000	0	0	0	9,640,000
寄付金収益	8,140,000	1,500,000	9,640,000	0	0	0	9,640,000
⑥雑収益	908	0	908	4,017,421	0	0	4,018,329
1 雑収益	908	0	908	4,017,421	0	0	4,018,329
受取利息等	908	0	908	0	0	0	908
管理手数料等収益	0	0	0	2,538,684	0	0	2,538,684
雑収益	0	0	0	1,478,737	0	0	1,478,737
経常収益合計	1,279,965,371	1,114,069,939	2,394,035,310	184,894,838	23,587,767	△ 163,416,848	2,439,101,067

平成 2 7 年度正味財産増減計算書 内訳書

平成 2 7 年 4 月 1 日から平成 2 8 年 3 月 3 1 日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業			収益事業等	法人会計	内部取引消去	合 計
	公 1	公 2	小 計	物品販売等 公益目的外事業			
	文化芸術事業	ホケストリによる 文化芸術事業					
(2)経常費用							
①事業費	1,316,588,754	1,184,173,081	2,500,761,835	191,696,789	0	△ 163,416,848	2,529,041,776
役員報酬	1,550,839	1,550,839	3,101,678	1,550,839	0		4,652,517
給料手当	316,181,865	610,526,307	926,708,172	70,206,576	0		996,914,748
退職給付費用	5,305,897	572,264	5,878,161	1,735,271	0		7,613,432
臨時雇賃金	475,981	6,892,855	7,368,836	9,759,231	0		17,128,067
福利厚生費	51,403,958	96,052,265	147,456,223	14,453,556	0		161,909,779
会議費	1,316	0	1,316	0	0		1,316
旅費交通費	12,364,888	82,241,062	94,605,950	256,379	0		94,862,329
通信運搬費	6,218,955	32,025,566	38,244,521	540,498	0		38,785,019
減価償却費	2,306,826	5,836,277	8,143,103	1,135,936	0		9,279,039
消耗什器備品費	10,303,251	687,226	10,990,477	1,122,612	0		12,113,089
消耗品費	22,853,236	7,996,509	30,849,745	3,297,631	0	△ 135,840	34,011,536
商品費	0	0	0	1,136,594	0		1,136,594
修繕費	15,572,908	1,233,873	16,806,781	6,148,585	0		22,955,366
印刷製本費	29,029,077	12,361,325	41,390,402	1,110,369	0	△ 512,730	41,988,041
広告宣伝費	21,562,950	19,316,544	40,879,494	1,640,512	0		42,520,006
光熱水料費	144,360,165	5,098,188	149,458,353	16,989,228	0		166,447,581
賃借料	77,997,195	91,668,884	169,666,079	3,858,361	0	△ 115,003,685	58,520,755
保険料	593,266	4,245,124	4,838,390	48,050	0		4,886,440
諸謝金	973,541	1,469,030	2,442,571	32,306	0		2,474,877
租税公課	27,127,678	9,002,132	36,129,810	8,392,331	0		44,522,141
支払負担金	27,547,786	782,688	28,330,474	1,848,733	0		30,179,207
チケット購入額	600,000	0	600,000	0	0		600,000
支援事業助成金	7,296,380	0	7,296,380	0	0		7,296,380
委託費	532,542,289	189,910,186	722,452,475	44,435,550	0	△ 47,764,593	719,123,432
接遇交際費	0	50,943	50,943	0	0		50,943
支払手数料等	1,603,884	3,203,878	4,807,762	1,281,680	0		6,089,442
雑費	814,623	1,449,116	2,263,739	715,961	0		2,979,700
②管理費	0	0	0	0	23,587,767	0	23,587,767
役員報酬	0	0	0	0	2,015,017	0	2,015,017
給料手当	0	0	0	0	10,157,442	0	10,157,442
退職給付費用	0	0	0	0	264,353	0	264,353
福利厚生費	0	0	0	0	3,039,434	0	3,039,434
会議費	0	0	0	0	84,104	0	84,104
旅費交通費	0	0	0	0	218,270	0	218,270
通信運搬費	0	0	0	0	86,061	0	86,061
減価償却費	0	0	0	0	192,859	0	192,859
消耗品費	0	0	0	0	101,304	0	101,304
印刷製本費	0	0	0	0	452,932	0	452,932
諸謝金	0	0	0	0	1,814,400	0	1,814,400
租税公課	0	0	0	0	1,192,396	0	1,192,396
支払負担金	0	0	0	0	235,040	0	235,040

平成 2 7 年度正味財産増減計算書 内訳書

平成 2 7 年 4 月 1 日から平成 2 8 年 3 月 3 1 日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業			収益事業等	法人会計	内部取引消去	合 計
	公 1	公 2	小 計	物品販売等 公益目的外事業			
	文化芸術事業	オーケストラによる 文化芸術事業					
委託費	0	0	0	0	3,660,703	0	3,660,703
接遇交際費	0	0	0	0	53,000	0	53,000
支払手数料等	0	0	0	0	20,452	0	20,452
経常費用合計	1,316,588,754	1,184,173,081	2,500,761,835	191,696,789	23,587,767	△ 163,416,848	2,552,629,543
当期経常増減額	△ 36,623,383	△ 70,103,142	△ 106,726,525	△ 6,801,951	0	0	△ 113,528,476
2. 経常外増減の部							
(1)経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2)経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 36,623,383	△ 70,103,142	△ 106,726,525	△ 6,801,951	0	0	△ 113,528,476
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	320,000	0	0	320,000
当期一般正味財産増減額	△ 36,623,383	△ 70,103,142	△ 106,726,525	△ 7,121,951	0	0	△ 113,848,476
一般正味財産期首残高			705,047,812	48,924,369	0	0	753,972,181
一般正味財産期末残高			598,321,287	41,802,418	0	0	640,123,705
II 指定正味財産増減の部							
当期指定正味財産増減額			0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高			55,000,000	0	0	0	55,000,000
指定正味財産期末残高			55,000,000	0	0	0	55,000,000
III 正味財産期末残高			653,321,287	41,802,418	0	0	695,123,705

財 務 諸 表 に 対 す る 注 記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券…購入時の取得価額による。なお償却原価法については、取得価額と債券金額との差額について重要性に乏しいため、適用していない。

(2) たな卸資産の評価基準及び評価方法

商品及び貯蔵品…先入先出法による原価法を採用している。

(3) 固定資産の減価償却の方法

当財団会計規程第21条に従い、償却費の計算は定率法により行っており、勘定記入の方法は直接法により行っている。

(4) 引当金の計上基準

退職給付引当金については、職員の退職金の支払に備えるため、財団の規程に基づき算出した要支給額の全額を引き当てている。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の取扱いについては、税込処理方式を採用している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	83,000,000	0	0	83,000,000
定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000
小 計	103,000,000	0	0	103,000,000
特定資産				
記念事業引当資産	158,186,000	0	83,266,000	74,920,000
管理運営引当資産	352,000,000	0	0	352,000,000
退職給付引当資産	189,791,869	5,957,785	9,310,852	186,438,802
特定費用準備資金	125,306,910	18,820,000	37,425,000	106,701,910
特定資産取得・改良資金	3,857,488	0	0	3,857,488
小 計	829,142,267	24,777,785	130,001,852	723,918,200
合 計	932,142,267	24,777,785	130,001,852	826,918,200

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
京都市債	83,000,000	(55,000,000)	(28,000,000)	－
定期預金	20,000,000	(0)	(20,000,000)	－
小 計	103,000,000	(55,000,000)	(48,000,000)	(0)
特定資産				
記念事業引当資産	74,920,000	(0)	(74,920,000)	－
管理運営引当資産	352,000,000	(0)	(352,000,000)	－
退職給付引当資産	186,438,802	(0)	(0)	(186,438,802)
特定費用準備資金	106,701,910	(0)	(106,701,910)	－
特定資産取得・改良資金	3,857,488	(0)	(3,857,488)	－
小 計	723,918,200	(0)	(537,479,398)	(186,438,802)
合 計	826,918,200	(55,000,000)	(585,479,398)	(186,438,802)

4. 固定資産取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	100,529,728	91,345,325	9,184,403

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価並びに評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益	
京都市債10年(平成20年度第5回)	83,000,000	86,618,800	3,618,800	基本財産投資有価証券
京都市債5年(平成23年度第3回)	100,000,000	100,140,000	140,000	管理運営引当資産
京都市債5年(平成24年度第6回)	50,000,000	50,090,000	90,000	管理運営引当資産
京都市浪漫債5年(第14回)	50,000,000	50,105,000	105,000	管理運営引当資産
京都市債5年(平成23年度第3回)	30,000,000	30,042,000	42,000	退職給付引当資産
京都市債5年(平成27年度第3回)	30,000,000	30,111,000	111,000	退職給付引当資産
京都府京都安心づくりみらい債5年(平成23年度第8回)	10,000,000	10,003,000	3,000	退職給付引当資産
合 計	353,000,000	357,109,800	4,109,800	

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金の名称及び交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
補助金				
財団運営事業補助金 交付者 京都市	0	691,651,341	691,651,341	0
受取補助金計	0	691,651,341	691,651,341	0
助成金				
劇場・音楽堂等活性化事業 交付者 文化庁(芸術文化課)	0	27,314,358	27,314,358	0
芸術創造活動重点支援事業 交付者 独立行政法人 日本芸術文化振興会	0	54,903,000	54,903,000	0
芸術創造活動重点支援事業 交付者 独立行政法人 日本芸術文化振興会	0	109,000	109,000	0
公演助成－交付者 (公財)ロームミュージックファンデーション	0	6,000,000	6,000,000	0
公演助成－交付者 (一財)地域創造	0	5,000,000	5,000,000	0
公演助成－交付者 (公財)アフィニス文化財団	0	500,000	500,000	0
公演助成－交付者 (公財)青山財団	0	500,000	500,000	0
公演助成－交付者 (公財)全国税理士共栄財団	0	350,000	350,000	0
公演助成－交付者 (公財)ロームミュージックファンデーション	0	300,000	300,000	0
公演助成－交付者 (公財)朝日新聞文化財団	0	300,000	300,000	0
広告助成－交付者 (公社)日本オーケストラ連盟	0	50,000	50,000	0
国際芸術交流支援事業(海外公演) 交付者 文化庁(芸術文化課)	0	40,739,234	40,739,234	0
海外公演助成－交付者 (公財)三菱UFJ信託芸術文化財団	0	500,000	500,000	0
海外公演助成－交付者 (公財)花王芸術・科学財団	0	500,000	500,000	0
海外公演助成－交付者 (公財)朝日新聞文化財団	0	200,000	200,000	0
受取助成金計	0	137,265,592	137,265,592	0
合 計	0	828,916,933	828,916,933	0

財 産 目 録

平成28年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金	手許保管	運転資金として	8,204,212
	普通預金	総務課，業務管理課，事業企画課		
		京都銀行下鴨支店	〃	67,772,537
		三菱東京UFJ銀行京都支店	〃	3,235,346
		京都中央信用金庫北烏丸支店	〃	145,995
		三井住友銀行京都支店	〃	15,061
		三井住友信託銀行京都支店	〃	16,785
		滋賀銀行北大路支店	〃	17,103
		ゆうちょ銀行京都北山郵便局	〃	1,271,955
		京都市交響楽団		
		京都銀行下鴨支店	〃	25,408,507
		三菱東京UFJ銀行京都支店	〃	45,571,948
		京都中央信用金庫北烏丸支店	〃	3,223,601
		京都信用金庫北山支店	〃	1,356,842
		三井住友銀行京都支店	〃	3,497,386
		りそな銀行京都支店	〃	60,572
		ロームシアター京都		
		京都銀行市役所前支店	〃	134,772,935
		京都銀行下鴨支店	〃	276,000
		京都銀行聖護院支店	〃	0
		京都市東部文化会館		
		京都銀行山科中央支店	〃	9,470,272
		京都市呉竹文化センター		
		京都銀行伏見支店	〃	18,833,767
		京都市西文化会館ウエスティ		
		京都銀行上桂支店	〃	9,868,290
		京都市北文化会館		
		京都銀行鞍馬口支店	〃	8,882,657
		京都中央信用金庫北烏丸支店	〃	6,401
		京都市右京ふれあい文化会館		
		京都銀行太秦安井支店	〃	10,578,645
	郵便振替	業務管理課	〃	193,822
		京都市交響楽団	〃	15,717,111
		京都市東部文化会館	〃	123,458
		京都市呉竹文化センター	〃	929
		京都市西文化会館ウエスティ	〃	27,056
		京都市北文化会館	〃	1,254,067
		京都市右京ふれあい文化会館	〃	794,228
		総務課	指定管理料等	85,866,577
		業務管理課，事業企画課	ホール利用料金等	56,955,104
		京都市交響楽団	公演料，助成金等	23,951,920
	未収金	ロームシアター京都	ホール利用料金等	14,867,108
		京都市東部文化会館	〃	16,705
		京都市呉竹文化センター	〃	115,220
		京都市西文化会館ウエスティ	〃	29,150
		京都市北文化会館	〃	172,264
		京都市右京ふれあい文化会館	〃	113,300

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
	貯蔵品	業務管理課	販売用商品	353,226	
		京都市交響楽団	〃	1,041,840	
		ロームシアター京都	照明用ボリカー	455,068	
		京都市東部文化会館	〃	614,328	
		京都市呉竹文化センター	〃	544,210	
		京都市西文化会館ウエスティ	〃	1,267,451	
		京都市北文化会館	〃	489,891	
		京都市右京ふれあい文化会館	〃	464,741	
	立替金	総務課	光熱水料	62,315	
		ロームシアター京都	〃	4,276,417	
	前払金	京都市交響楽団	社会保険料	43,990	
		総務課	労働保険料	110,156	
	京都市交響楽団	〃	628,183		
流動資産合計				563,036,652	
(固定資産)					
基本財産	投資有価証券	京都市債平成20年度第5回(10年)	運用益を公益目的事業の財源と	83,000,000	
	定期預金	京都銀行下鴨支店	している	10,000,000	
特定資産	記念事業引当資産 管理運営引当資産	三菱東京UFJ銀行京都支店	〃	10,000,000	
		普通預金 京都銀行下鴨支店	〃	74,920,000	
		京都市債平成23年度第3回(5年)	〃	100,000,000	
		第14回京都浪漫債(5年)	〃	50,000,000	
		京都市債平成24年度第6回(5年)	〃	50,000,000	
		定期預金 三井住友銀行京都支店	〃	10,000,000	
		定期預金 三井住友信託銀行京都支店	〃	10,000,000	
		定期預金 京都中央信用金庫北鳥丸支店	〃	10,000,000	
		定期預金 滋賀銀行北大路支店	〃	10,000,000	
		普通預金 京都銀行下鴨支店	〃	112,000,000	
	退職給付引当資産	京都市債平成23年度第3回(5年)	退職給付引当金に充てる	30,000,000	
		京都市債平成27年度第3回(5年)	〃	30,000,000	
		京都府債平成23年度京都安心づくりみらい債(5年)	〃	10,000,000	
		定期預金 京都信用金庫北山支店	〃	10,000,000	
		定期預金 みずほ信託銀行京都支店	〃	10,000,000	
		普通預金 京都銀行下鴨支店	〃	96,438,802	
		特定費用準備資金	普通預金 京都銀行下鴨支店	記念公演等	90,595,507
	その他固定資産	特定資産取得・改良資金	〃	〃	10,106,403
			〃	〃	6,000,000
			普通預金 京都銀行下鴨支店	什器備品購入	3,857,488
什器備品		総務課	什器備品	460,401	
		業務管理課, 事業企画課	〃	1,814,870	
		京都市交響楽団	〃	5,472,408	
		ロームシアター京都	〃	731,050	
		京都市東部文化会館	〃	226,379	
		京都市呉竹文化センター	〃	13,977	
		京都市西文化会館ウエスティ	〃	226,547	
		京都市北文化会館	〃	15,994	
		京都市右京ふれあい文化会館	〃	222,777	
	電話加入権	業務管理課, 事業企画課	電話加入権	314,370	
	固定資産合計				836,416,973
	資産合計				1,399,453,625

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動負債)	未払金	総務課	人件費等	55,382,663
		業務管理課, 事業企画課	公演経費, ホール運営経費等	30,217,798
		ロームシアター京都	〃	55,033,464
		京都市交響楽団	人件費, 公演経費等	45,071,271
		京都市東部文化会館	ホール運営経費等	1,068,611
		京都市呉竹文化センター	〃	372,232
		京都市西文化会館ウエスティ	〃	939,414
		京都市北文化会館	〃	2,646,817
		京都市右京ふれあい文化会館	〃	337,042
		総務課	法人税等	320,000
	未払法人税等 前受金	業務管理課, 事業企画課	ホール利用料金等	29,260,340
		京都市交響楽団	友の会会費等	51,201,100
		ロームシアター京都	ホール利用料金等	129,124,980
		京都市東部文化会館	〃	3,044,570
		京都市呉竹文化センター	〃	5,813,900
		京都市西文化会館ウエスティ	〃	3,440,850
		京都市北文化会館	〃	5,068,610
		京都市右京ふれあい文化会館	〃	4,516,430
		総務課	社会保険料等	5,951,024
		業務管理課, 事業企画課	チケット購入代金等	76,634,392
	預り金	京都市交響楽団	〃	4,790,552
		ロームシアター京都	公演料, 助成金等	1,720,578
		京都市東部文化会館	舞台設備料等	1,514,808
		京都市呉竹文化センター	〃	2,029,721
		京都市西文化会館ウエスティ	〃	513,287
		京都市北文化会館	〃	611,805
		京都市右京ふれあい文化会館	〃	1,262,819
		業務管理課, 事業企画課	チケット購入者誤入金	2,040
	仮受金			
流動負債合計				517,891,118
(固定負債)				
	退職給付引当金	職員	職員退職給付引当金	186,438,802
固定負債合計				186,438,802
負債合計				704,329,920
正味財産				695,123,705